

# 消防年報

平成 2 6 年 版

袋井市森町広域行政組合

# はじめに

この年報は、平成26年度中における当行政組合の消防の現勢及び業務に関する事項について概要をまとめたものであります。皆様の消防行政についての認識とご理解を深めていただく一助となれば幸いです。

なお、この年報は災害活動に関する統計は暦年（平成26年1月から12月）、その他のものにあつては年度（平成26年4月から平成27年3月）集計となります。

平成27年7月

袋井市森町広域行政組合  
袋井消防本部

# 目 次

## 沿 革

袋井消防の沿革 .....	1
---------------	---

## 概 況

### 広域行政組合の概況

1 袋井市森町広域行政組合管内情勢 .....	13
(1) 組合の概況 .....	13
(2) 面積、人口及び世帯数 .....	13
(3) 管内図 .....	14
2 消防の組織 .....	15
(1) 消防本部・署 .....	15
(2) 消 防 団 .....	15
3 消防本部・署の事務分掌 .....	16
4 歴代消防長 .....	20
5 消防庁舎の配置と概要 .....	21
6 消防相互応援協定の締結状況 .....	22
7 その他応援協定の締結状況 .....	22

## 総 務

### 総 務 の 概 況

1 職員の状況 .....	23
(1) 消防職員配置状況・階級別消防職員数の状況 .....	23
(2) 職員の階級別年齢状況 .....	24
(3) 職員の勤続年数状況 .....	24
(4) 職員教育実施状況 .....	25
2 組合予算の状況 .....	26
(1) 袋井市森町広域行政組合予算総括 .....	26

(2) 歳入予算の内訳（当初予算）	26
(3) 歳出予算の内訳（当初予算）	27
(4) 一般会計と消防予算（当初予算）	27
(5) 消防費分担金の5か年の推移（当初予算）	27

## 予 防

### 火 災 予 防

1 主要事務事業	28
2 消防本部・消防署の立入検査状況	29
3 防火管理者選任状況	29
4 防火管理講習等実施状況	30
5 訓練指導等の状況	30
6 消防用設備等の検査状況	31
7 中高層建築物の状況	32
8 建築同意の状況	32
(1) 過去5年間の建築同意件数	32
(2) 用途別建築同意件数	33
9 高齢者世帯防火訪問結果	34
10 袋井保安管理協会	34
11 幼少年女性防火委員会	35
(1) 少年消防クラブ	35
(2) 幼年消防クラブ	35
(3) 女性防火クラブ	36

## 危険物

### 危険物施設の概況

1 危険物施設の推移	37
2 危険物施設状況	38

## 火 災

### 平成26年中の火災

1	火災の概況	39
(1)	火災の状況	39
(2)	火災の概要（前年比較）	39
2	月別火災発生状況	40
3	出火原因別火災発生状況	41
4	地区別火災発生状況	42
(1)	袋井市	42
(2)	森町	42
5	過去5年間の火災発生状況	43
6	過去10年間の主な火災（損害額1千万円以上の火災）	44

## 通 信

### 通 信 の 概 況

1	連絡の仕組み	45
2	消防無線の状況	46
3	電話設置状況	48
4	中東遠地域災害情報受信状況	49
(1)	119番通報受付（切断）状況	49
(2)	袋井消防本部（袋井市・森町）月別119番通報受付状況	51
5	車載端末装置の設置状況	52
6	ドクターヘリコプターの要請状況	53

## 警 防

### 警 防 の 概 況

1	消防本部・消防署の車両状況	54
(1)	現有台数	54
(2)	配置状況	54
2	消防水利の状況	55

## 救 急

### 救 急 の 概 況

1	市町別救急出動状況	56
2	事故別救急出動状況	56
3	市町別事故別救急出動状況	57
4	最近5年間の救急出動件数	57
5	地区別出動状況	58
6	市町別月別救急出動状況	59
7	地域別搬送人員	59
8	曜日別出動状況	60
9	年齢別搬送人員	60
10	月別時間別救急出動状況	61
11	救急隊が行った応急処置	61
12	傷病程度別搬送人員	62
13	病（医）院別搬送人員	62
14	東名・新東名高速道路救急出動状況	63
15	収容所要時分別搬送人員	64

## 救 助

### 救 助 の 概 況

1	救助活動状況	65
2	事故種別発生場所別出動状況	65
3	月別出動状況	66
4	最近5年間の救助出動及び活動件数	66
5	救助工作車積載装備品一覧	67

## 消防団

### 消防団の概況

1	消防団の状況	68
2	消防団の無線状況	69
(1)	袋井市消防団	69
(2)	森町消防団	70
3	消防団員（年齢・勤務年数・職業）調べ	71
(1)	袋井市消防団（団本部・袋井方面隊・浅羽方面隊・女性隊）	71
(2)	森町消防団	73
4	実施した主な行事	74

沿

革



# 袋井消防の沿革

昭和38年4月1日

袋井市は、諸般の情勢から消防本部及び消防署設置の必要を認め、消防組織法（昭和22年法律第226号）第10条第1項及び第3項の規定に基づいて袋井市消防本部及び消防署を設置する。

消防本部（署）の位置	袋井市高尾1135番地の5
管轄区域	袋井市全域
職員数	消防本部・6人 消防署・12人
消防車両	指令車（日産ジュニア 可搬ポンプラビット B-2級積載）団共有 消防車（ダッシュ、 団より返還 一部改造）

以上の組織をもって発足する。庁舎は市役所第3会議室を使用。上記の内、消防署勤務内定の12人は、昭和38年3月15日より浜松市消防本部に教養委託し一般教養訓練を受ける。

5月24日

庁舎（市役所建物改造）事務室、仮眠室完成、移転し業務を行う。

8月5日

車庫（鉄骨スレート）完成する。ホースタワーは大和ハウス工業より寄贈をうける。

12月24日

消防ポンプ自動車（日産FR40 森田ポンプA-2級）購入、入魂式及び披露式を行う。

昭和39年1月2日

開署当時の消防車、消防団第21分団に貸与する。

2月12日

消防専用短波無線、基地局1基、移動局2基設置する。

昭和40年1月1日

消防本部、消防署設置が政令指定される。（政令第107号）

昭和41年6月21日

日本損害保険協会より消防ポンプ自動車（日産FR40 森田ポンプA-2級）1台寄贈される。

翌日消防団第15分団に貸与する。

12月1日

静岡県西部6市消防団相互応援協定を締結する。

先に消防団第15分団に貸与した消防ポンプ自動車が返納され、消防署に配置、署の消防車2台となる。

昭和42年 3月22日	職員定数条例改正定数27人となる。
昭和43年 5月 2日	法多山尊永寺より救急車（日産 セドリック C型）1台貸与され、法多山号と命名される。
9月20日	袋井市救急業務取扱規程を制定する。
11月20日	消防団第21分団に指令車（日産ジュニア 可搬ポンプ ラビットB-2級搭載）を貸与する。
昭和44年 1月22日	日本道路公団より救急車（日産セドリック B型）1台貸与される。
1月31日	浜松市、磐田市、掛川市、菊川町の間で東名高速道路に関する消防相互応援協定を締結する。
4月 1日	職員定数条例改正、定数32人とし、実数29人となる。
4月17日	救急業務が政令指定される。（政令第97号）
10月 2日	従来の短波無線から超短波無線に変更する。
昭和45年 3月11日	日本道路施設協会の寄付金及び国庫補助により救急車（トヨペットクラウン A型）1台購入する。
3月16日	消防用ホース65mmから50mmに変更される。
4月 1日	消防職員実数32人となる。
5月 1日	袋井市役所移転により旧庁舎の一部を改善し、事務室、通信室を移転する。
5月26日	指令車を更新する。
昭和46年 4月 1日	隣接の森町、浅羽町を含めた袋井市外2町消防組合を発足 職員定数条例改正57人となる。
6月 1日	森町、浅羽町、消防本部、消防署の設置が政令指定される。 （自治省告示第110号）
8月20日	森分署、浅羽分署に配置する消防ポンプ自動車（日産パトロール FH型 森田ポンプ A-2級）2台購入する。
昭和47年 3月16日	森分署配属の救急車（トヨタハイエース 2B型）1台購入する。
3月30日	日本道路施設協会より救急車（トヨタハイエース 2B型）1台寄贈され、浅羽分署に配置する。
3月31日	森分署、浅羽分署の開署式を挙行、両分署にそれぞれ消防車1台、救急車1台分署長以下13人で発足する。
4月 1日	森分署、浅羽分署業務開始、職員定数条例改正、定数69人とし、消防本部7人

	本署31人、森分署13人、浅羽分署13人、実数64人となる。
6月1日	森分署、浅羽分署に本署職員各2人を配置替え、15人となる。
7月31日	連絡車（トヨペットコロナV）1台購入、本署に配置する。
9月5日	タンク車（日野KL300 森田ポンプ A-2級）1台購入、本署に配置する。
12月25日	袋井市川井996番地の2に袋井消防本部（署）新庁舎落成、業務を開始する。
昭和48年4月1日	職員定数条例改正、定数80人となり、本部10人、本署31人、森分署15人、浅羽分署15人、実数71人となる。
5月1日	森分署に本署職員2人配置替えし、17人となる。
7月15日	袋井消防署に救助隊結成、隊長以下12人で発足する。
昭和49年3月15日	救急指令装置を導入する。
4月1日	消防職員増員により本署36人となり総員78人となる。
8月30日	森分署にタンク車（日野KL300 森田ポンプ A-2級）1台配置する。
昭和50年4月1日	消防職員増員により本部12人、本署32人、森分署19人、浅羽分署17人、実数80人となる。
11月5日	日本損害保険協会より、消防ポンプ自動車（日産FH60小池ポンプA-1級）寄贈、本署に配置する。
昭和51年2月6日	査察車（日産ブルーバードV 可搬ポンプラビット C-1級 搭載）本部に配置、また本署に定置式可搬ポンプ（ラビット B-2級）を配置する。
4月1日	職員定数条例改正84人となり、本部11人、本署35人、森分署20人、浅羽分署17人、実数83人となる。
5月1日	森分署に本署職員2人配置替えし、21人となる。
昭和52年3月4日	袋井市外2町消防組合、袋井市消防団が消防庁長官表彰旗受彰
4月1日	職員定数条例改正86人となり浅羽分署に2人増員19人、実数85人となる。
5月27日	森分署、浅羽分署に連絡車（三菱H-J26 可搬ポンプラビットC-1級搭載）それぞれに配置する。
9月28日	化学車2型（日野KL501型 森田ポンプ A-2級）購入、本署に配置する。
昭和53年3月3日	本署救急車（トヨタPH42VP-JRT 2B型）を更新する。
7月20日	森・浅羽分署に定置式可搬ポンプ（ラビット B-2級）を配置する。
7月31日	本署消防ポンプ車（日産FH60 森田ポンプ A-2級）を更新する。
9月26日	東京海上火災保険株式会社より広報兼地震対策車（三菱ジープHJ46 9人乗り

	可搬ポンプラビット C-1 級搭載) 寄贈、本署に配置する。
9 月 30 日	本署車庫増築工事 (鉄骨99㎡) が竣工される。
10 月 20 日	情報収集用赤バイ (ホンダCB250) 1 台購入、本署に配置する。
昭和54年 7 月 10 日	法多山尊永寺より査察車 (日産サニーV) 寄贈、本署に配置する。
8 月 21 日	総合気象観測装置の整備をする。
昭和55年 3 月 21 日	救助工作車 (日野KL505ウインチ、クレーン、発電装置装備) 購入、本署に配置する。
5 月 17 日	磐田信用金庫創立30周年記念により救急車 2 台寄贈され、森、浅羽分署救急車を更新する。
6 月 13 日	本署訓練場及び駐車場用地 (1,140㎡) を購入する。
6 月 25 日	本署敷地内にコミュニティー防災センター (鉄筋コンクリート267.62㎡) 及び飲料用100 t 水槽竣工する。
昭和56年 3 月 25 日	袋井消防署にホースタワー (双葉ホースタワーA-22型 540万円) が完成する。
3 月 31 日	浅羽分署消防ポンプ車 (日産FG160A 森田ポンプA-2 級) を更新する。
5 月 1 日	袋井市同報無線開局に伴い、袋井消防署に放送装置を設置する。
9 月 8 日	袋井消防署「職員交通安全会」設立する。
11 月 12 日	森分署庁舎増改築工事 (2,880万円) が竣工される。
昭和57年 4 月 1 日	職員 1 人増員、実数86人となる。
4 月 1 日	組合管内ガス事故発生時における応急対策に関する協定書を締結する。
7 月 3 日	陸上貨物運送事業労働災害防止協会静岡県支部より救急車 1 台寄贈され、本署救急車更新する。
8 月 26 日	現場本部車 (日産キャラバン 9 人乗り ハイルーフV) 購入、本署に配置する。
11 月 18 日	森分署消防ポンプ車 (イスズエルフ K-TLD46 森田ポンプA-2 級) 更新する。
昭和58年 4 月 1 日	袋井市外 2 町消防組合管内ガス保安対策連絡会議を設立する。
昭和59年 1 月 1 日	通信指令室防災センターに移転、同時に消防救急指令装置を更新する。
1 月 31 日	本署待機室一部改造工事を行う。
7 月 27 日	査察車 (トヨタカーリーナV) 本署に配置する。
8 月 8 日	袋井市よりマイクロバス (ミツビシ 29人乗) 寄贈、本署に配置する。
3 月 31 日	職員 2 人退職により実数84人となる。

昭和60年4月1日	本部職員数12人、本署職員数36人、森分署職員数19人、浅羽分署職員数17人となる。
昭和61年2月28日	小型動力ポンプ付水槽車（三菱シバウラ B-2級搭載10t）を本署に配置、1号車更新する。
7月21日	日本消防協会より救急車（日産キャラバン 2B型）が寄贈され本署に配置、救急2号車を更新する。
7月30日	資材運搬用トラック（マツダタイタン2t）を購入、本署に配置する。
9月13日	日本損害保険協会より水槽付消防ポンプ自動車（三菱 A-1級）が寄贈され浅羽分署に配置、袋井8号車更新する。
昭和62年3月16日	本署庁舎一部増改築工事を行う。
4月1日	職員1人採用により職員数85人となる。
8月17日	査察車（トヨタカローラV）購入する。
昭和63年4月1日	本部職員21人（うち通信員8人）、本署職員28人、森分署職員18人、浅羽分署職員16人となる。
5月10日	森、浅羽分署救急車（トヨタ 2B型）を更新する。
8月31日	職員1人退職により82人となる。
平成元年3月10日	浅羽分署庁舎増改築工事（1,224万円）が竣工される。
4月1日	職員1人採用により職員数83人となる。
10月14日	森分署小型動力消防ポンプ付水槽車（三菱シバウラ B-2級搭載7t）を配置、4号車更新する。
11月24日	救急1号車（日産キャラバン 2B型）を更新する。
平成2年4月1日	職員2人増員 実数85人となる。
4月26日	職員土屋修次、静岡県代表として、全国消防長会関東支部消防職員意見発表大会に出場する。
9月28日	指令車（クラウン）を更新する。
10月29日	浅羽分署消防ポンプ車（三菱U-FE337B 森田ポンプCD-1型 動力ホースカー付）を更新する。
12月20日	現場本部車（ハイエース）を更新する。
平成3年4月1日	職員2人採用、1人市長部局へ、実数86人となる。
6月7日	「袋井市外2町消防組合管内婦人防災隊連絡会」設立する。

7月16日	袋井1号車、小型動力消防ポンプ（B-2級）を更新する。
10月14日	気象観測装置を更新する。
12月24日	職員定数条例改正、定数96人となる。
平成4年2月20日	マイクロバス（トヨタコースター 29人乗り）を更新する。
3月16日	救急波無線を整備する。
4月1日	職員2人採用、実数88人となる。
9月17日	小型動力ポンプ4台（ラビット C-1型）を更新する。
10月1日	袋井消防署救助訓練塔工事を起工する。
10月7日	広報車（三菱パジェロ）を更新する。
11月2日	森分署消防ポンプ車（三菱U-F E337B 4輪駆動 森田ポンプ CD-1 電動ホースカー付）を更新する。
11月7日	袋井市田町婦人防災隊 静岡県知事褒章を受賞する。
12月13日	消防創立30周年記念「東海道どまん中ファイヤーフェスティバル」開催する。
12月21日	職員定数条例改正、定数105人となる。
平成5年2月26日	袋井消防署救助訓練塔が完成する。
3月31日	職員1人退職により87人となる。
4月1日	職員5人採用、実数92人となる。
7月14日	袋井消防署浅羽分署新庁舎建設工事を起工する。
9月1日	森町ライオンズクラブより救急訓練用人形寄贈される。
9月8日	患者監視装置を導入する。
10月26日	県高圧ガス、危険物防災訓練が袋井市（松本油脂）で開催される。
11月15日	消防指令救急波接続装置を設置する。
11月24日	非常用電源装置を設置する。
平成6年3月1日	磐田郡浅羽町浅名1045番地に浅羽分署新庁舎が落成し移転する。
3月31日	職員2人退職により、実数90人となる。
4月1日	職員6人採用、実数96人となる。
4月1日	組織機構改革に伴い、課制（管理課、予防課）を導入する。
9月12日	本署・森分署・浅羽分署に可搬ポンプ台車付（ラビットC-1）を配置する。
平成7年3月24日	袋井消防署に初の高規格救急車が導入され、救急袋井2号車（高規格救急車 日産パラメディック）を更新する。

3月24日	化学車（日野U-GD3HGAA 畠山ポンプA-2級）を更新する。
3月31日	職員1人退職により、実数95人となる。
4月1日	職員5人採用、実数100人となる。
5月29日	袋井4号車、小型動力ポンプ（ラビット B-2級）を更新する。
11月24日	30m級はしご付消防ポンプ自動車（日野KC-PR4FPDF 森田ポンプA-2級）購入、本署に配置する。
12月12日	救助工作車（Ⅱ型 日野KC-GD1JGBA 森田ポンプ）を更新する。
平成8年3月31日	職員3人退職により実数97人となる。
4月1日	職員5人採用、市長部局から1人、実数103人となる。
5月22日	初の救急救命士が誕生する。
7月9日	袋井1号車 小型動力ポンプ（ラビット B-2級）を更新する。
7月26日	査察車（61号車 スズキ軽バン）を更新する。
11月26日	救急森1号車、救急浅羽1号車ともに高規格救急自動車（トヨタハイメディック）に更新する。
12月4日	2人目の救急救命士が誕生する。
平成9年3月31日	職員1人退職により実数102人となる。
4月1日	職員3人採用、実数105人となる。
4月1日	消防緊急通信指令システム（NECⅡ型）を導入、運用開始する。
7月10日	査察車（65号車 トヨタカルディナバン）を更新する。
11月25日	救急心電図伝送装置導入（袋井市民病院）運用開始する。
平成10年3月10日	消防ポンプ自動車（2号車 三菱KC-FE538B 森田ポンプCD-1型電動ホースカー付）を更新する。
3月10日	救急袋井1号車高規格救急自動車（トヨタハイメディック）を更新する。
3月31日	職員3人退職により実数102人となる。
4月1日	職員2人採用（内1人女性）、市長部局から1人、実数105人となる。
4月28日	3人目の救急救命士（女性）が誕生する。
11月19日	4人目の救急救命士が誕生する。
12月1日	救急心電図受信装置（森町病院）運用開始する。
平成11年3月31日	職員1人退職により実数104人となる。
4月1日	職員1人採用、1人市長部局へ、実数104人となる。

4月8日	職員1人退職により実数103人となる。
11月15日	日本損害保険協会より水槽付消防ポンプ自動車（ニッサンA-1級）が寄贈され浅羽分署に配置、袋井8号車更新する。
12月21日	本部、本署庁舎の耐震補強工事が完成する。
平成12年3月31日	職員1人退職により実数102人となる。
4月1日	袋井市外2町消防組合、袋井地域環境厚生施設組合及び袋井市広域施設組合が統合し、袋井市森町浅羽町広域行政組合が発足する。 職員4人採用、1人(その他の職員)組合事務局へ、実数105人となる。
5月16日	5人目の救急救命士が誕生する。
7月10日	袋井4号車、小型動力ポンプ（ラビットB-2級）を更新する。
7月31日	磐田信用金庫創立50周年記念により、指令車（トヨタクラウン）1台、現場本部車（トヨタグランビア）1台及び連絡車（トヨタエース）2台寄贈され、51号車（指令車）、62号車（現場本部車）、63・64号車（森・浅羽分署連絡車）を更新する。
8月17日	職員1人退職により実数104人となる。
12月25日	訓練塔塗装改修工事が完成する。
平成13年3月1日	職員1人を県消防防災航空隊へ派遣する。
3月31日	職員4人退職により実数100人となる。
4月1日	職員5人採用、市長部局から2人、1人（消防職員）組合事務局へ、実数105人となる。
5月15日	6人目の救急救命士が誕生する。
7月26日	(株)アクト・メイト創立20周年記念により、広報車（スズキエスクード）1台寄贈され、73号車（本部広報車）を更新する。
9月17日	森分署移転新築工事に伴う起工式が行われる。
平成14年3月20日	浅羽分署ホースタワー塗装改修工事が完了する。
3月31日	職員1人退職により実数104人となる。
4月1日	職員1人採用、実数105人となる。
5月14日	7人目の救急救命士が誕生する。
8月28日	周智郡森町森48番地の2に森分署新庁舎が落成し移転する。
10月1日	消防本部、本署、森分署及び浅羽分署が管理市のグループウェアに接続され、



	全署所及び管理市とのLANによるネットワークが構築される。
10月24日	職員定数条例改正、定数109人となる。
12月31日	職員1人退職により実数104人となる。
平成15年1月31日	袋井1号車（水槽付ポンプ車）を更新する。
3月31日	職員1人退職により実数103人となる。
4月1日	職員2人採用、市長部局から1人により実数106人となる。
5月9日	8人目の救急救命士が誕生する。
8月8日	森分署庁舎ガラス飛散防止工事が完了する。
平成16年3月31日	職員1人退職により実数105人となる。
4月1日	職員4人採用、実数109人となる。
4月1日	職員1人を県防災局緊急防災支援室へ派遣する。
5月17日	9人目の救急救命士が誕生する。
7月30日	袋井消防署ホースタワー・車庫庇塗装工事が完了する。
12月31日	10人目、11人目の救急救命士が誕生する。
12月31日	職員1人退職により実数108人になる。
平成17年1月12日	救急袋井2号車（高規格救急車）を更新、緊急消防援助隊へ登録する。
1月27日	森分署4号車（水槽付ポンプ車）を更新する。
3月31日	職員4人退職により実数104人となる。
4月1日	袋井市と浅羽町の合併により、袋井市森町浅羽町広域行政組合から、袋井市森町広域行政組合に名称変更する。
4月1日	職員3人採用、市長部局から2人により実数109人となる。
4月1日	職員1人を県消防学校へ教官として派遣する。
11月1日	職員定数条例改正、定数119人となる。
12月21日	浅羽分署6号車（ポンプ車）を更新する。
平成18年2月1日	12人目の救急救命士が誕生する。
3月10日	浅羽分署非常用発電機燃料タンク増設工事が完了する。
3月31日	職員2人退職により実数107人となる。
4月1日	職員3人採用、市長部局から1人により実数111人となる。
7月22日	連絡車61号（軽バン）を更新する。
9月30日	職員1人退職により実数110人になる。

平成19年 2月28日	救急浅羽1号車（高規格救急車）を更新する。
3月31日	職員4人退職により、実数106人となる。
4月1日	職員5人採用、市長部局から1人、1人市長部局へ、実数111人となる。
5月9日	13人目、14人目の救急救命士が誕生する。
7月3日	15人目の救急救命士が誕生する。
平成20年 2月28日	救急森1号車（高規格救急車）を更新する。
3月31日	職員4人退職により、実数107人となる。
4月1日	職員7人採用、市長部局から2人、2人市長部局へ、実数114人となる。
5月26日	16人目、17人目の救急救命士が誕生する。
7月3日	全国消防長会技術委員会を袋井市内にて開催する。
7月31日	職員1人退職により実数113人になる。
8月29日	職員浅山晃一、静岡県代表として、第37回全国消防救助技術大会 （ロープブリッジ渡過）に出場する。
10月30日	袋井消防署袋井31号車（はしご車）のオーバーホールを終了する。
12月12日	査察車（65号車 ホンダステップワゴン）を更新する。
12月31日	職員1人退職により実数112人になる。
平成21年 2月27日	森分署袋井5号車（ポンプ車）を更新する。
3月31日	職員5人退職により、実数107人となる。
4月1日	職員7人採用、市長部局から3人、2人市長部局へ、実数115人となる。
6月1日	職員1人採用により実数116人となる。
6月30日	職員1人退職により実数115人となる。
7月1日	18人目、19人目の救急救命士が誕生する。
8月20日	職員加藤辰則、静岡県代表として、第38回全国消防救助技術大会 （ロープブリッジ渡過）に出場する。
11月30日	職員1人退職により実数114人となる。
12月31日	職員1人退職により実数113人となる。
平成22年 2月24日	救急袋井1号車（高規格救急車）を更新する。
3月1日	職員1人を県消防防災航空隊へ派遣する。
3月31日	職員5人退職により、実数108人となる。
4月1日	職員6人採用、市長部局から3人、1人市長部局へ、実数116人となる。

7月1日	20人目、21人目、22人目の救急救命士が誕生する。
8月10日	中東遠地域消防指令業務共同運用推進協議会設立
11月1日	23人目、24人目の救急救命士が誕生する。
平成23年3月11日	東日本大震災に緊急消防援助隊静岡県隊として救急隊・後方支援隊40名を派遣 (期間 平成23年3月11日～平成23年4月1日)
3月31日	職員10人退職により、実数106人となる。
4月1日	職員7人採用、市長部局から2人、1人市長部局へ、実数114人となる。
平成24年3月31日	職員8人退職により、実数106人となる。
4月1日	職員6人採用、市長部局から2人、2人市長部局へ、実数112人となる。 森分署2名増員し、23人となる。 中東遠地域5消防本部消防通信指令事務協議会設立 中東遠地区5消防本部（袋井市森町広域行政組合袋井消防本部、御前崎市消防本部、菊川市消防本部、掛川市消防本部、磐田市消防本部）にて中東遠消防指令センターの運用を開始し、職員6人を派遣する。 中東遠消防指令センターの運用開始に伴い、警防課通信指令室を廃止する。
平成24年4月14日	新東名高速道路が開通する。
平成24年8月7日	職員佐藤正弥、静岡県代表として第41回全国消防救助技術大会（はしご登はん）に出場する。
平成24年11月1日	25人目の救急救命士が誕生する。
平成25年2月25日	全国共済農業協同組合連合会静岡県支部、遠州中央農業協同組合より高規格救急車1台寄贈され、救急袋井3号車を更新する。
平成25年2月28日	職員1人退職により、実数111人となる。
平成25年3月1日	袋井7号車（化学車）、41号車（救助工作車）を更新する。
平成25年3月31日	職員5人退職により、実数106人となる。
平成25年4月1日	職員定数条例改正、定数123人となる。 職員9人採用、市長部局から1人、1人市長部局へ、実数116人となる。 職員1人を県消防学校へ教官として派遣する。
平成25年5月31日	袋井消防署山梨分遣所新築工事に伴う起工式が行われる。
平成25年6月1日	職員1人を緊急消防援助隊関東ブロック合同訓練静岡県実行委員会事務局員として派遣する。

平成25年10月30日	静岡県高圧ガス危険物防災訓練が袋井浄化センターで開催される。
平成25年11月3日	26人目の救急救命士が誕生する。
平成25年11月26日	静岡県西部地区消防長会大規模災害訓練をエコパにて開催する。
平成26年2月21日	袋井2号車（ポンプ車）を更新する。
平成26年3月28日	袋井消防署山梨分遣所落成式が行われる。
平成26年3月29日	新東名高速道路遠州森町スマートインターチェンジが開通する。
平成26年3月31日	職員2人退職により、実数114人となる。
平成26年4月1日	職員9人採用、市長部局から1人、1人市長部局へ、育児休業1人、実数122人となる。  袋井市上山梨三丁目27-4に袋井消防署山梨分遣所を開所、職員10人を配置、水槽付ポンプ自動車1台、高規格救急自動車1台を配備する。
平成26年7月31日	ロープブリッジ救出(里見賢治、浅原将斗、大石真也、小野田崇人)、静岡県代表として、第43回消防救助技術関東地区指導会に出場する。
平成26年10月25日	袋井市メロプラザにて静岡県防火のつどいが開催される。
平成26年11月5～6日	緊急消防援助隊関東ブロック合同訓練が静岡県西部地区で開催される。  袋井消防本部では図上訓練を実施する。
平成27年2月25日	袋井3号車（水槽付きポンプ車）を更新する。
平成27年2月26日	救急袋井2号車（高規格救急車）を更新する。
平成27年3月31日	職員3人退職により、実数119人となる。
平成27年4月1日	職員4人採用、市長部局から1人、1人市長部局へ、育児休業1人、実数123人となる。

概

況

## 広域行政組合の概況

袋井市森町広域行政組合は袋井市、森町で構成されており、消防に関する事務（消防団に係るもの並びに水利施設の設置、維持及び管理に係るものを除く。）、し尿処理施設に関する事務、ごみ処理施設に関する事務、火葬施設に関する事務を共同処理する一部事務組合です。

管内は南に太平洋、北は赤石山脈に連なる山地の裾野に面しており、南北34.0km、東西6.8kmと南北に非常に長い地形を有し、総面積242.4km<sup>2</sup>で、南に平地、北に山地と変化に富んだ美しい自然環境に恵まれています。

また、管内には東名高速道路、新東名高速道路、国道1号、JR東海道線、東海道新幹線及び天竜浜名湖鉄道と多くの主要道等が横断しています。平成26年3月には新東名高速道路遠州森町スマートインターチェンジが開通されるなど東西交通の要所とされています。

管内人口は約10万6千人となっています。

# 1 袋井市森町広域行政組合管内情勢

## (1) 組合の概況

構成市町 袋井市・森町

袋井市外2町消防組合設立年月日 昭和46年4月1日

本部設立年月日 昭和46年4月1日 (袋井市消防本部 昭和38年4月1日)

業務開始年月日 昭和46年4月1日 (分署業務開始 昭和47年4月1日)

袋井市森町浅羽町広域行政組合設立年月日 平成12年4月1日

旧袋井市と旧浅羽町の合併により袋井市森町広域行政組合に名称変更

平成17年4月1日

本部・署所在地

袋井消防本部 袋井市川井996番地の2

袋井消防署 袋井市川井996番地の2

袋井消防署浅羽分署 袋井市浅名1045番地

袋井消防署森分署 周智郡森町森48番地の2

袋井消防署山梨分遣所 袋井市上山梨三丁目27番地の4

消防団所在地

袋井市消防団 袋井市川井996番地の2

森町消防団 周智郡森町森2101番地の1

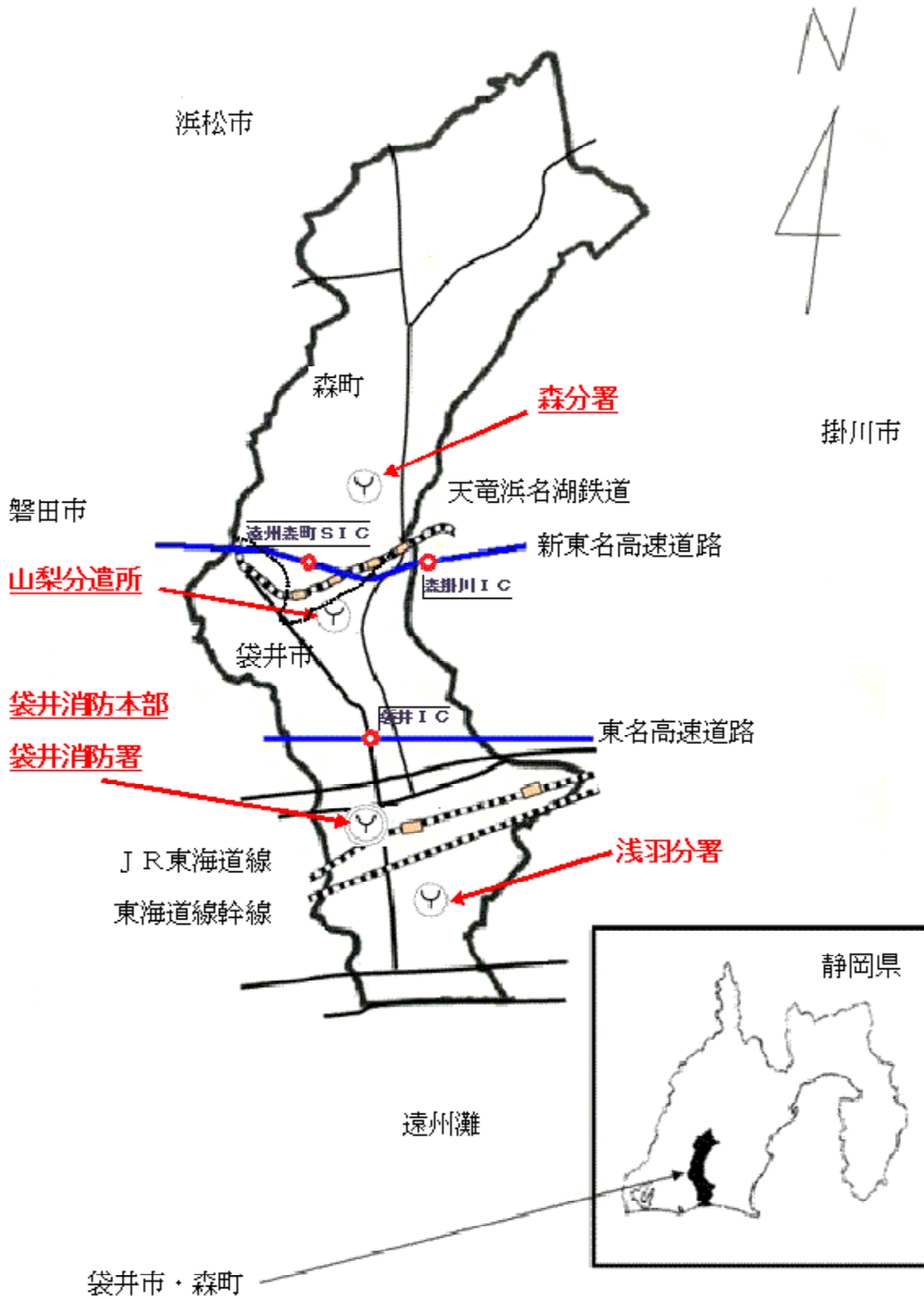
## (2) 面積、人口及び世帯数

(H27. 4. 1)

項目 市町別	面積 (Km <sup>2</sup> )	人口 (人)	世帯数 (戸)
袋井市	108.56	87,155	32,294
森町	133.84	19,220	6,418
計	242.40	106,375	38,712

(3) 管内図

東西	6.8km
南北	34.0km
面積	242.4km

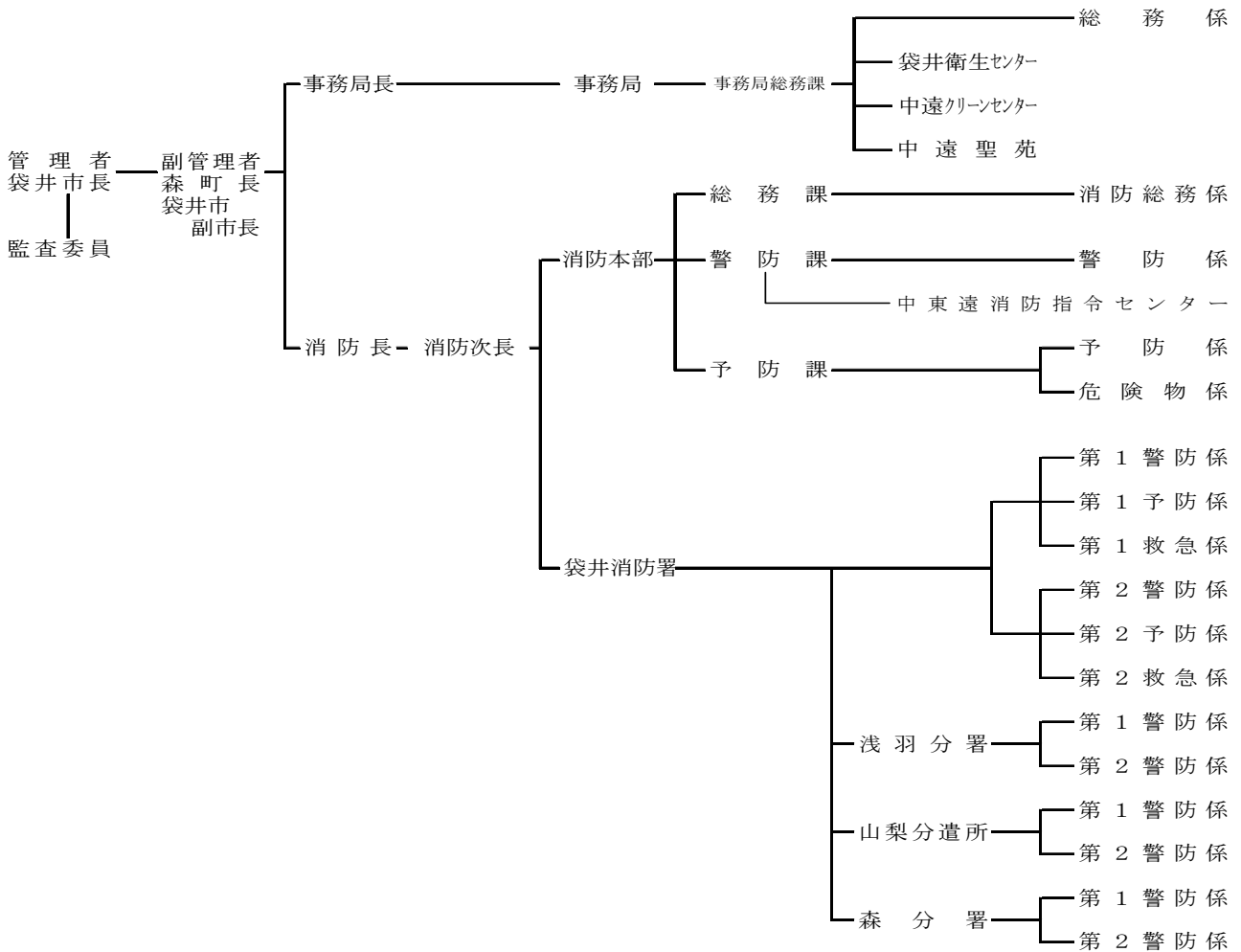




## 2 消防の組織

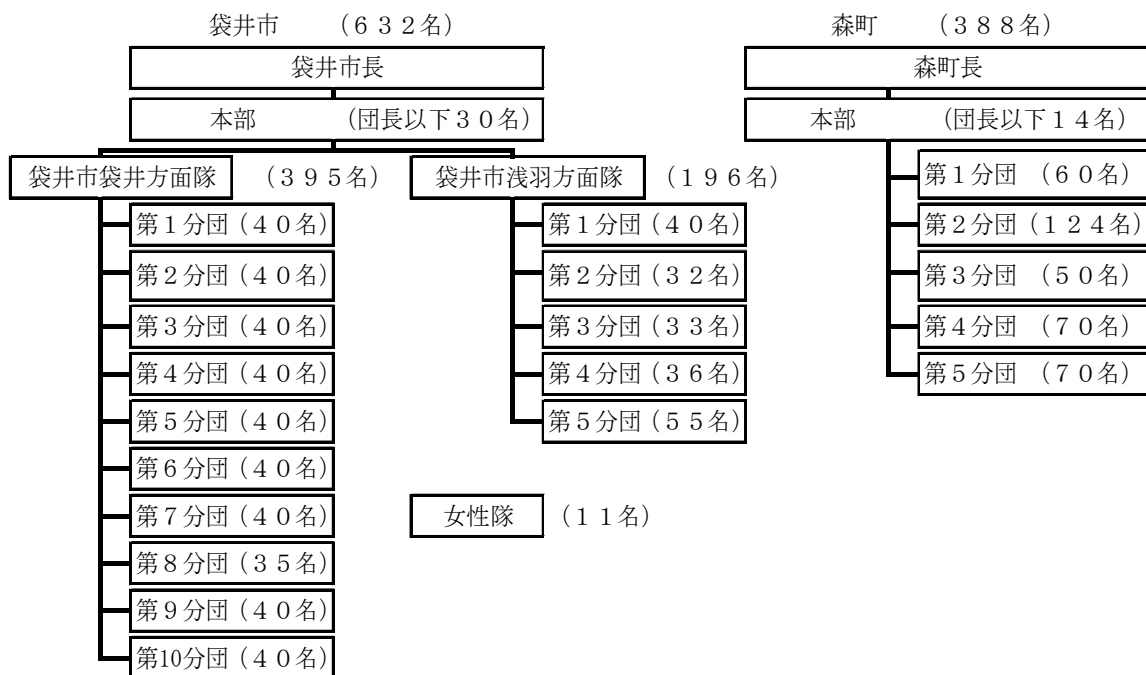
### (1) 消防本部・署

平成27年4月1日現在



### (2) 消防団

平成27年4月1日現在



### 3 消防本部・署の事務分掌

(平成27年4月1日現在)

#### 総務課

##### 消防総務係

- (1) 消防の組織に関する事。
- (2) 消防の儀式及び会議に関する事。
- (3) 消防の企画に関する事。
- (4) 公印に関する事。
- (5) 消防の予算及び決算に関する事。
- (6) 消防に係る例規に関する事。
- (7) 消防に係る文書の収受、発送及び保管に関する事。
- (8) 消防職員の人事及び給与に関する事。
- (9) 消防職員の服務に関する事。
- (10) 消防職員の研修及び福利厚生に関する事。
- (11) 消防職員の衛生管理に関する事。
- (12) 消防職員の公務災害補償及び賞じゅつ金に関する事。
- (13) 消防の財産の取得、管理及び処分に関する事。
- (14) 消防の各種委員会に関する事。
- (15) 消防広域化に関する事。
- (16) 消防施設整備に関する事。
- (17) 消防に係る他の所管に属さない事。

#### 警防課

##### 警防係

- (1) 消防力の配備及び消防計画に関する事。
- (2) 水火災その他の災害の警戒、防ぎよ及び応援に関する事。
- (3) 消防団との連絡共助に関する事。
- (4) 消防水利に関する事。
- (5) 消防技術の研究及び訓練に関する事。
- (6) 消防車両及び機器の整備並びに管理に関する事。

- (7) 救急及び救助の運営に関する事。
- (8) 消防統計に関する事。
- (9) 消防通信の運用に関する事。
- (10) 各種災害情報の収集及び伝達に関する事。
- (11) 気象情報に関する事。
- (12) 同報無線に関する事。
- (13) 通信施設等の整備及び維持管理に関する事。
- (14) 通信技術の研究に関する事。
- (15) 消防救急無線デジタル化に関する事。
- (16) 中東遠地域5消防本部消防通信指令事務協議会に関する事。
- (17) その他警防に関する事。

#### 予防課

##### 予防係

- (1) 建築許可等についての同意及び指導に関する事。
- (2) 防火管理者に関する事。
- (3) 消防用設備等の指導及び検査に関する事。
- (4) 予防査察に関する事。
- (5) 火気使用設備等の指導に関する事。
- (6) 防火協力団体の指導育成に関する事。
- (7) 袋井市森町広域行政組合火災予防条例(昭和46年袋井市外2町消防組合条例第21号)に規定する届出に関する事。
- (8) 火災予防思想の高揚及び火災予防の広報に関する事。
- (9) 火災原因及び損害の調査に関する事。
- (10) 火災証明に関する事。
- (11) 火災統計に関する事。
- (12) 住宅及び高齢者等の防火指導に関する事。
- (13) 地震対策指導に関する事。
- (14) その他火災予防に関する事。

## 危険物係

- (1) 危険物製造所等についての許可、認可、検査、指導及び取締りに関すること。
- (2) 危険物施設等の立入検査等に関すること。
- (3) 指定数量未満の危険物、指定可燃物等の検査、指導等に関すること。
- (4) 危険物取扱者に関すること。
- (5) 煙火消費の許可等に関すること。
- (6) 高圧ガス等の指導に関すること。
- (7) 保安管理協会に関すること。
- (8) その他危険物の指導及び取締りに関すること。

## 消防署

### 第1 警防係・第2 警防係

- (1) 水火災等の指揮、警戒及び防ぎよに関すること。
- (2) 消防地理及び水利に関すること。
- (3) 警防計画に関すること。
- (4) 消防車両及び機器の整備並びに管理に関すること。
- (5) 職員の研修及び訓練に関すること。
- (6) 文書の收受並びに物品の出納及び管理に関すること。
- (7) 公印に関すること。
- (8) 消防統計に関すること。
- (9) 特別救助隊に関すること。
- (10) 消防団との連絡共助に関すること。
- (11) 各種災害情報の収集及び伝達に関すること。
- (12) 気象情報に関すること。
- (13) 同報無線に関すること。
- (14) 通信施設等の整備及び維持管理に関すること。

### 第1 予防係・第2 予防係

- (1) 水火災等の指揮、警戒及び防ぎよに関すること。
- (2) 予防査察に関すること。

- (3) 火気使用設備等の指導に関する事。
- (4) 火災の原因及び損害の調査に関する事。
- (5) 消防広報に関する事。
- (6) 訓練指導に関する事。
- (7) 袋井市森町広域行政組合火災予防条例(昭和46年袋井市外2町消防組合条例第21号)に規定する届出に関する事。
- (8) 煙火の消費場所への調査指導に関する事。
- (9) 火災統計に関する事。
- (10) 消防団との連絡共助に関する事。
- (11) その他予防に関する事。

#### 第1救急係・第2救急係

- (1) 水火災等の指揮、警戒及び防ぎよに関する事。
- (2) 救急業務に関する事。
- (3) 救急統計に関する事。
- (4) 救急隊員の研修及び訓練に関する事。
- (5) その他救急に関する事。

#### 分署・分遣所

##### 第1警防係・第2警防係

- (1) 水火災等の警戒及び防ぎよに関する事。
- (2) 救急及び救助業務に関する事。
- (3) 警防計画に関する事。
- (4) 消防車両及び機器の整備並びに管理に関する事。
- (5) 火災の原因及び損害の調査に関する事。
- (6) 消防地理及び水利に関する事。
- (7) 袋井市森町広域行政組合火災予防条例に規定する届出に関する事。
- (8) 予防査察に関する事。
- (9) 消防広報に関する事。
- (10) 訓練指導に関する事。

- (11) 火気使用設備等の指導に関する事。
- (12) 煙火の消費場所への調査指導に関する事。
- (13) 職員の研修及び訓練に関する事。
- (14) 文書の收受並びに物品の出納及び管理に関する事。
- (15) 消防統計に関する事。
- (16) 消防団との連絡共助に関する事。
- (17) その他分署及び分遣所に関する事。

#### 4 歴代消防長

区分	歴順	所属役職名等	氏名	在職期間
消 防 長	初代	(袋井市助役兼任)	平出孝一	昭和38.04.01～昭和39.11.30
	2代	〃	鈴木木信平	昭和40.01.01～昭和43.12.31
	3代	〃	湖東二太郎	昭和44.01.01～昭和51.08.21
	4代	〃	右崎彦勝	昭和52.01.01～昭和58.02.28
	5代	〃	村松忍郎	昭和58.04.01～昭和63.03.31
	6代	〃	高田吉義	昭和63.12.01～平成元.03.31
	7代	(以下専任消防長)	久野松義夫	平成元.04.01～平成03.03.31
	8代	〃	井口育夫	平成03.04.01～平成06.03.31
	9代	〃	鈴木木弘	平成06.04.01～平成08.03.31
	10代	〃	鈴木木利保	平成08.04.01～平成10.03.31
	11代	〃	土屋清二	平成10.04.01～平成12.03.31
	12代	〃	寺井雄二	平成12.04.01～平成13.03.31
	13代	〃	榛葉明	平成13.04.01～平成15.03.31
	14代	〃	兼子春英	平成15.04.01～平成16.12.31
	15代	〃	山田二進	平成17.04.01～平成19.03.31
	16代	〃	永田三	平成19.04.01～平成21.03.31
	17代	〃	鈴木木英二	平成21.04.01～平成22.03.31
	18代	〃	名倉正久	平成22.04.01～平成23.03.31
	19代	〃	山本喜久次	平成23.04.01～平成24.03.31
	20代	〃	戸塚哲夫	平成24.04.01～平成25.02.28
	21代	〃	山本	平成25.04.01～

## 5 消防庁舎の配置と概要

### 消防本部・署

袋井市川井966番地の2

TEL (0538) 42-0119

FAX (0538) 43-5751

敷地面積 3,005.61㎡

庁舎延面積 1,115.90㎡

(鉄筋コンクリート一部鉄骨造)

1階 …………… 596.24㎡

2階 …………… 519.66㎡

別棟車庫倉庫 ……… 98.65㎡

指揮支援室・警防課事務室(借用) …… 128.00㎡



### 浅羽分署

袋井市浅名1045番地

TEL (0538) 23-0119

FAX (0538) 23-3222

敷地面積 1,550.00㎡

庁舎延面積 734.52㎡

(鉄骨造)

1階 ……… 475.20㎡

2階 ……… 259.32㎡



### 森分署

周智郡森町森48番地の2

TEL (0538) 85-0119

FAX (0538) 85-3950

敷地面積 2386.11㎡

庁舎延面積 952.34㎡

(鉄筋コンクリート一部鉄骨造)

1階 ……… 646.68㎡

2階 ……… 305.66㎡



山梨分遣所 (平成26年4月1日開所)

袋井市上山梨三丁目27番地の4

TEL (0538) 49-3119

FAX (0538) 49-3122

敷地面積 1201.88m<sup>2</sup>

庁舎延面積 509.25m<sup>2</sup>

(鉄骨造)

1階 …………… 509.25m<sup>2</sup>



## 6 消防相互応援協定の締結状況

[締結年月日順]

名 称	締 結 市 町 村	締 結 年 月 日
静岡県消防相互応援協定	・静岡県内全市町村	昭和62年3月2日
隣接市町村消防相互応援協定	・磐田市	平成13年3月28日
隣接市町村消防相互応援協定	・掛川市	平成14年8月28日
静岡県西部広域消防相互応援協定	・菊川市・掛川市・磐田市 ・浜松市・湖西市	平成17年7月1日
静岡県西部地区内高速道路における消防相互応援協定	・菊川市・掛川市・磐田市 ・浜松市	平成17年7月1日
静岡県西部地区内新東名高速道路における消防相互応援に関する協定	・浜松市・磐田市・掛川市	平成24年3月29日
新東名高速道路内の島田金谷・森掛川IC間における消防相互応援に関する協定	・島田市・掛川市	平成24年4月14日

## 7 その他応援協定の締結状況

名 称	締 結 機 関	締 結 年 月 日
ガス事故発生時における応援対策に関する協定	袋井ガス(株)他10事業所	昭和56年3月31日



総

務

## 総務の概況

消防本部は、1本部（3課）・1署・2分署・1分遣所、職員123人で組織し、安全な地域社会の実現と住民の生命財産を守るため消防業務に取り組んでいます。

また、社会情勢の進展に的確に対応するため、各種研修の実施、資格の取得、消防大学校、静岡県消防学校、救急救命士養成所等への派遣を積極的に行い、職員の資質の向上に努めています。

平成27年度の行政組合における当初予算は2,864,000千円で、そのうち消防に係る当初予算は、消防費1,296,687千円、公債費80,994千円、予備費2,500千円の1,380,181千円です。

平成26年度は袋井3号車（水槽付消防ポンプ自動車）、救急袋井2号車（救急車）の更新を行いました。

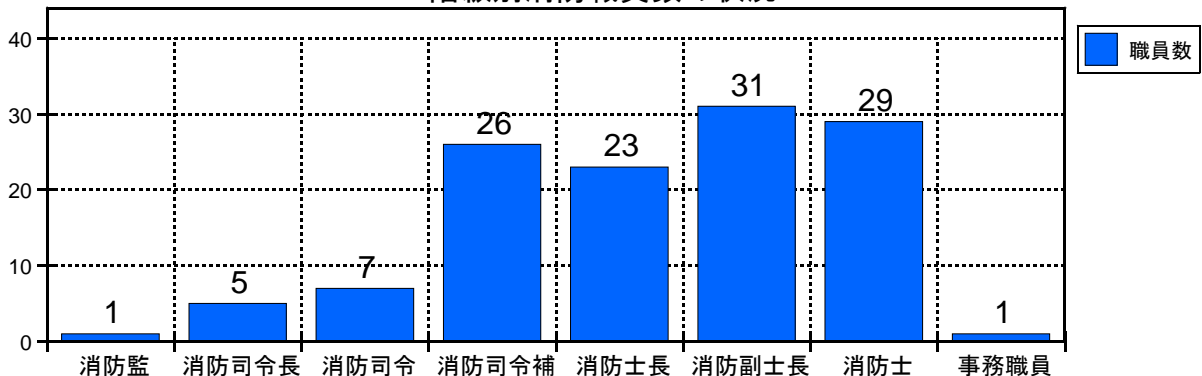
# 1 職員の状況

## (1) 消防職員配置状況・階級別消防職員数の状況 (平成27年4月1日現在)

区分	消防職員							事務職員	合計	
	消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士			
消防本部	消防長	1							1	
	消防次長		1						1	
	総務課	課長		(1)						(1)
		消防総務係				2		①1	①1	② 4
	警防課	課長		1						1
		警防係				2	1			3
		指令センター				2	2	2		6
	予防課	課長		1						1
		予防係				1	2			3
		危険物係				1	1			2
小計	1	(1)3		8	6	①3	①1	(1)② 22		
消防署	消防署長		1						1	
	副署長		1						1	
	本署	主幹			2					2
		第1警防係				2		3	3	8
		第2警防係			1	1		1	4	7
		第1予防係				1	2	①3	2	① 8
		第2予防係				1	2	2	3	8
		第1救急係				1	2	2	1	6
		第2救急係			(1)	1	2	1	①2	(1)① 6
	浅羽分署	分署長			1					1
		第1警防係				2	2	3	3	10
		第2警防係			1	1	2	3	3	10
	森分署	分署長			1					1
		第1警防係				2	①2	4	3	① 11
第2警防係				1	2	1	2	5	11	
山梨分遣所	分遣所長		(1)						(1)	
	第1警防係				2	1	2		5	
	第2警防係				2	1	2		5	
小計		(1)2	(1)7	18	①17	①28	①29	(2)③ 101		
合計	1	(2)5	(1)7	26	①23	②31	①29	①1 (3)⑤ 123		

( ) 内は兼務、○数字は女性職員 (うち数)

階級別消防職員数の状況



(2) 職員の階級別年齢状況

(平成27年4月1日現在)

階級 年齢	消防監	司令長	司令	司令補	士長	副士長	消防士	事務職員	合計
	総数	1	5	7	26	23	31	29	1
平均年齢	59.0	55.2	54.0	40.8	34.6	27.6	21.9	42.0	33.3
20歳未満							6		6
20歳～24歳							17		17
25歳～29歳						26	6		32
30歳～34歳					10	5			15
35歳～39歳				9	13				22
40歳～44歳				15				1	16
45歳～49歳			2	2					4
50歳～54歳		1	1						2
55歳～59歳	1	4	4						9

(3) 職員の勤続年数状況

(平成27年4月1日現在)

区分 勤続年数	階級							事務職員	合計
	消防監	司令長	司令	司令補	士長	副士長	消防士		
総数	1	5	7	26	23	31	29	1	123
平均勤続年数	41.0	36.4	35.4	20.8	14.3	6.0	2.0	0.0	12.9
5年未満						9	26	1	36
5年～9年					2	19	3		24
10年～14年					11	3			14
15年～19年				5	10				15
20年～24年				19					19
25年～29年		1	2	2					5
30年～35年			1						1
35年～39年		4	2						6
40年以上	1		2						3

#### (4) 職員教育実施状況

区分		年度	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26
消防 大学 校	新任消防長・学校長科			1			1	1	1	1		
	幹部研修科				1	1						
	救助科			1				1				
	危険物科					1						
	火災調査科								1	1		
	警防科										1	1
静 岡 県 消 防 学 校	初任科	3	3	5	6	8	6	7	6	9	9	
	初級幹部科			1								
	中級幹部科		1	1	1	1	1	1	1	1		
	上級幹部科		1	1	1	1	1	1				
	警防科								1	1		1
	危険物科									1		1
	予防査察科	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
	火災調査科	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
	救急科	4	6	6	6	6	6	3	4	2	3	
	救助科	1	1	1	1	3	3	2	2	1	1	
	水難救助科	1	1	1	1	1	1	1	1	2	1	1
	特殊災害科	1		1		1						
	新任消防長研修	1				1	1					
	潜水士試験対策講習					2	2	1	1			1
ビデオ喉頭鏡講習										1	2	
そ の 他	救急救命士		1	2	2	1					1	
	特別産業廃棄物管理責任者講習			2	2	1	1	1	1	1	1	1
	小型船舶操縦免許(2級湖川)		1	2	2	2	2	1	1	1	1	1
	ガス溶接技能講習	1	1	2	2	2	2	1	2	2	2	2
	小型移動式クレーン運転技能講習	2	2	2	2	2	2	1	2	1	1	1
	玉掛け技能講習	2	2	2	2	2	2	1	2	1	1	1
	潜水士資格	1	2	2	2	2	2	1	1			1
	酸素欠乏・硫化水素危険作業主任者技能講習	1	1	2	2	2	2	1	2	2	2	2
予防技術検定試験		2	4	3	1	3	3	3	3	3	3	

## 2 組合予算の状況

平成27年4月1日現在

### (1) 袋井市森町広域行政組合予算総括

平成27年度当初予算額	平成26年度当初予算額	前年度対比	
		増減額	伸び率
千円 2,864,000	千円 2,778,000	千円 86,000	% 3.1

### (2) 歳入予算の内訳（当初予算）

（単位：千円、%）

区 分	平成27年度当初予算		平成26年度当初予算		前年度対比	
	予算額	構成比	予算額	構成比	増減額	伸び率
1 分担金及び負担金	2,443,962	85.3	2,314,260	83.3	129,702	5.6
2 使用料及び手数料	199,561	7.0	189,124	6.8	10,437	5.5
3 県 支 出 金	2,722	0.1	8,057	0.3	△5,335	△66.2
4 財 産 収 入	975	0.1	1,025	0.1	△50	△4.9
5 繰 入 金	44,007	1.5	64,891	2.3	△20,884	△32.2
6 繰 越 金	10,000	0.3	10,000	0.4	0	0.0
7 諸 収 入	18,873	0.7	25,821	0.9	△6,948	△26.9
8 組 合 債	143,900	5.0	152,800	5.5	△8,900	△5.8
国 庫 支 出 金	0	0.0	12,022	0.4	△12,022	△100.0
歳 入 合 計	2,864,000	100.0	2,778,000	100.0	86,000	3.1

**(3) 歳出予算の内訳（当初予算）**

（単位：千円、％）

区 分	平成27年度当初予算		平成26年度当初予算		前年度対比	
	予 算 額	構 成 比	予 算 額	構 成 比	増減額	伸 び 率
1 議会費	649	0.0	647	0.0	2	0.3
2 総務費	38,805	1.4	31,345	1.1	7,460	23.8
3 衛生費	1,019,498	35.6	1,004,125	36.2	15,373	1.5
4 消防費	1,296,687	45.3	1,242,855	44.7	53,832	4.3
5 公債費	498,361	17.4	489,028	17.6	9,333	1.9
6 予備費	10,000	0.3	10,000	0.4	0	0.0
歳出合計	2,864,000	100.0	2,778,000	100.0	86,000	3.1

**(4) 一般会計と消防予算（当初予算）**

（単位：千円）

区分 市町別	A 一般会計	B 消 防 費	比 較 $\frac{B}{A} \times 100$	C 常備消防費	比 較 $\frac{C}{B} \times 100$	非 常 備 消 防 費 等
袋 井 市	32,180,000	2,146,895	6.7 %	905,243	42.2 %	1,241,652
森 町	7,415,000	1,032,191	13.9 %	294,792	28.6 %	737,399
合 計	39,595,000	3,179,086	8.0 %	1,200,035	37.7 %	1,979,051

**(5) 消防費分担金の5か年の推移（当初予算）**

（単位：千円）

区 分	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度
袋井市	843,741	786,964	799,590	780,226	861,051
森 町	264,986	236,130	239,784	236,090	278,659
合 計	1,108,727	1,023,094	1,039,374	1,016,316	1,139,710

予

防



## 火 災 予 防

最近の火災の状況を見ると広島県福山市のホテル火災、長崎県長崎市のグループホーム火災、福岡県福岡市の整形外科医院火災等、多くの犠牲者が出ている火災が頻発しています。また、危険物施設に目を向ければ三重県四日市市の化学プラント工場での爆発事故、千葉県野田市の廃油処理施設での爆発火災、神奈川県川崎市の精油所火災等が発生しています。

一方、京都府福知山市の花火大会露店火災のようにガソリンの不適切な取扱いによる火災も発生しています。

いずれの火災も死者や負傷者が多数発生している重大な事故であることから法令、条例の改正がなされました。

このような状況の中、地域における「安全・安心」に対する住民の関心は一段と高まり、消防行政に寄せられる期待はますます大きくなっています。消防行政は住民の生命財産を守るため、防火対象物には予防査察を、地域住民には住宅用火災警報器をはじめとする火災予防の啓発を迅速かつ積極的に推進していく必要があります。

また、管内における危険性の高い防火対象物を的確に把握し、その安全対策の不備等を適切に是正していくため、違反對象物に対する継続的な是正指導を実施し、進捗が不十分な対象物については計画的な是正をしていくよう指導をしていきます。

住宅火災に対しては住民の防火意識の高揚を図るため、住宅用火災警報器の効果の周知、春・秋の火災予防運動、防災訓練指導、高齢者世帯の防火訪問等あらゆる広報手段を用いて住宅用火災警報器設置率100%を目指し、住民が安心して暮らせる安全な地域づくりに向け、予防行政を推進してまいります。

# 1 主要事務事業

年 月 日	事務事業	実施状況
平成26年4月1日 ～ 平成27年3月31日	広 報	市町広報紙・車両広報・防火パンフレットの配布等による防火の呼びかけを実施
平成26年4月1日 ～ 平成27年3月31日	同意・通知・届出 の処理	建築同意213件・火災予防条例に基づく諸届634件の処理
平成26年4月1日 ～ 平成27年3月31日	消防用設備等の 検査及び点検報 告の受付処理	145件の消防用設備等の検査を実施 994件の消防用設備等の点検結果報告書の受付処理
平成26年5月22日 ～ 平成27年2月25日	立 入 検 査 等	449件の防火対象物の立入検査を実施 内違反對象物の特別立入検査34件実施 91世帯の高齢者世帯防火訪問を実施
平成26年4月10日 ～ 平成27年2月24日	訓 練 指 導 等	事業所・学校・自治会等を対象に78件の訓練指導・防災講話等を実施
平成26年11月9日～平成26年11月15日  平成27年3月1日～平成27年3月7日	予 防 運 動	秋季火災予防運動の実施 春季火災予防運動の実施
平成26年6月16日 ～ 平成26年7月29日	花 火 教 室 等	幼稚園・保育園を対象に38件の花火教室、防火映画教室を実施
平成26年7月17日～18日 平成26年11月21日	講 習 会	甲種防火管理新規講習を実施 68人受講 防火・防災管理再講習を実施 39人受講
平成26年9月10日 ～ 平成27年3月16日	防 火 ポ ス タ ー	管内17小学校の5年生を対象に防火ポスターの募集・審査・入賞作品の展示を実施

## 2 消防本部・消防署の立入検査状況

所 属 \ 項 目	対象物数	計 画 数	実 施 数	実 施 率
消 防 本 部	1,317	88	93	105.7%
袋井消防署	2,235	97	84	86.6%
浅羽分署	592	138	136	98.6%
森 分 署	520	136	136	100.0%
合 計	4,664	459	449	97.8%

## 3 防火管理者選任状況

項 目 \ 市 町 別	袋井市	森 町	合 計
事 業 所 数	2,881	514	3,395
防火管理者を必要とする事業所	717	130	847
防火管理者選任済事業所	565	118	683
消防計画届出済事業所	553	116	669

#### 4 防火管理講習等実施状況

年	甲種防火管理新規講習		甲種防火管理再講習		防火・防災管理再講習	
	実施回数	修了人数	実施回数	修了人数	実施回数	修了人数
22年	2	124	0	0		
23年	2	124	0	0		
24年	1	77	1	19		
25年	2	125	0	0		
26年	1	68	0	0	1	39

#### 5 訓練指導等の状況

区分		自主防 自治会	学校等	事業所	その他	計
種 別	消防訓練	5	16	35	4	60
	花火教室等		38			38
	防災講話等	1	9	5	3	18
人 員	参加人員	460	6,214	4,622	440	11,736
	消防職員	19	208	122	58	407

## 6 消防用設備等の検査状況

消 防 用 設 備 等		年 別				
		22年	23年	24年	25年	26年度
消火 設備	屋 内 消 火 栓 設 備	7	6	2	6	7
	屋 外 消 火 栓 設 備	3	2	4	4	5
	ス プ リ ン ク ラ ー 設 備	2	13	9	5	6
	水 噴 霧 消 火 設 備					
	泡 消 火 設 備					1
	不 活 性 ガ ス 消 火 設 備	1				
	ハ ロ ゲ ン 化 物 消 火 設 備					
	粉 末 消 火 設 備			2	1	
	動 力 消 防 ポ ン プ 設 備			1		
	パ ッ ケ ー ジ 型 消 火 設 備					1
警報 設備	自 動 火 災 報 知 設 備	66	50	52	55	82
	ガ ス 漏 れ 火 災 警 報 設 備					
	漏 電 火 災 警 報 器			1	1	
	消 防 機 関 に 通 報 す る 火 災 報 知 設 備	7	15	9	17	7
	非 常 警 報 設 備	8	10	17	16	7
避難 設備	避 難 器 具	5	11	6	12	3
	誘 導 灯	23	21	22	25	23
その 他の 設備	消 防 用 水				1	1
	排 煙 設 備			1		
	連 結 送 水 管					2
	非 常 コ ン セ ン ト 設 備					
合 計		122	128	126	143	145

(平成26年から年度集計にて計上します。)

## 7 中高層建築物の状況

項 目	市 町 別		
	袋井市	森 町	合 計
3 階	340	39	379
4 階	127	16	143
5 階	48	6	54
6 階	12		12
7 階	6		6
8 階	1		1
10 階	2		2
13 階	1		1
合 計	537	61	598

※ 一般住宅は、含まれておりません。

## 8 建築同意の状況

### (1) 過去5年間の建築同意件数

市町別	年 別				
	22年	23年	24年	25年	26年度
袋井市	193	168	187	221	183
森 町	33	35	37	45	30
合 計	226	203	224	266	213

(平成26年から年度集計にて計上します。)

## (2) 用途別建築同意件数

令別表		項目	新 築		増 築		その他		合計
			袋井市	森 町	袋井市	森 町	袋井市	森 町	
1	イ	劇場・映画館等		1					1
	ロ	公会堂・集会場	2						2
2	イ	キャバレー等							
	ロ	遊技場等							
	ハ	性風俗関連特殊営業店舗等							
3	イ	待合・料理店等							
	ロ	飲食店	1						1
4		百貨店等	12	1			1		14
5	イ	旅館・ホテル等							
	ロ	共同住宅等	11		1				12
6	イ	病院・診療所等	2						2
	ロ	介護・障害者福祉(重度)	1						1
	ハ	介護・障害者福祉・保育所等	2				1		3
	ニ	幼稚園等							
7		学校等					1		1
8		図書館等							
9	イ	蒸気・熱気浴場							
	ロ	公衆浴場							
10		車両の停車場等							
11		神社・寺院等	6				1		7
12	イ	工場・作業所	7	2	4	1	1		15
	ロ	映画スタジオ等							
13	イ	自動車車庫等							
	ロ	飛行機等格納庫							
14		倉庫	17	6	2				25
15		前各項以外の事業所	13	2	3		3		21
16	イ	特定用途の複合	1		1		1		3
	ロ	その他の複合							
17		重要文化財等							
		住宅等	70	10			18	7	105
		その他							
合 計			145	22	11	1	27	7	213

## 9 高齢者世帯防火訪問結果

	実施予定数	実施数	実施率
高齢者世帯	206	91	44.2 %

※袋井市は80歳以上、森町は75歳以上の1人暮らし世帯を対象に実施

### 訪問結果

内 容	指 導 事 項	指導件数
地震対策	1 非常持出品を用意すること。	54
	2 家具の転倒防止をすること。	48
	3 非常食を確保すること。	43
	4 飲料水を確保すること。	40
住宅用火災警報器	1 住宅用火災警報器を設置すること。	47

## 10 袋井保安管理協会

部 会 名 称	結成年月日	会 員 数	備 考
1 学 校 安 全 部 会	昭和56年4月1日	68事業所	
2 一 般 防 火 部 会	〃	162事業所	
3 工 場 防 火 部 会	〃	105事業所	
4 危 険 物 安 全 部 会	〃	60事業所	
5 高 圧 ガ ス 部 会	〃	11事業所	
合 計		406事業所	



## 11 幼少年女性防火委員会

### (1) 少年消防クラブ

名 称	結成年月日	クラブ員数	備 考
袋井北小学校少年消防クラブ	昭和58年4月1日	16人	
袋井西小学校少年消防クラブ	平成15年5月24日	10人	
浅羽南小学校少年消防クラブ	平成6年7月1日	平成26年度は編成なし	
浅羽東小学校少年消防クラブ	平成9年6月30日	6人	
森小学校少年消防クラブ	平成3年5月1日	19人	
宮園小学校少年消防クラブ	平成7年12月20日	11人	
合 計		62人	

### (2) 幼年消防クラブ

名 称	結成年月日	クラブ員数	備 考
袋井市	山名幼稚園幼年消防クラブ	平成4年4月1日	143人
	明和第一保育園幼年消防クラブ	平成5年2月1日	107人
	明和第二保育園幼年消防クラブ	平成7年11月1日	103人
	今井幼稚園幼年消防クラブ	平成7年12月20日	56人
	笠原幼稚園幼年消防クラブ	〃	44人
	高南幼稚園幼年消防クラブ	〃	120人
	田原幼稚園幼年消防クラブ	〃	68人
	西幼稚園幼年消防クラブ	〃	103人
	東幼稚園幼年消防クラブ	〃	105人
	南幼稚園幼年消防クラブ	〃	104人
	三川幼稚園幼年消防クラブ	〃	56人
	山梨幼稚園幼年消防クラブ	〃	294人
	若草幼稚園幼年消防クラブ	〃	133人
	若葉幼稚園幼年消防クラブ	平成15年6月13日	183人
	たんぽぽ保育園幼年消防クラブ	平成12年11月29日	92人
	笠原保育所幼年消防クラブ	平成12年12月4日	49人
めいわ可睡保育園幼年消防クラブ	平成12年12月6日	102人	

名 称		結 成 年 月 日	ク ラ ブ 員 数	備 考
袋 井 市	南保育所幼年消防クラブ	平成12年12月11日	97人	
	袋井ハロー保育園幼年消防クラブ	平成17年12月16日	120人	
	ルンビニ保育園幼年消防クラブ	平成5年2月1日	92人	
	あさば保育園幼年消防クラブ	〃	86人	
	浅羽東幼稚園幼年消防クラブ	平成7年12月1日	137人	
	浅羽南幼稚園幼年消防クラブ	〃	91人	
	浅羽西幼稚園幼年消防クラブ	〃	64人	
	浅羽北幼稚園幼年消防クラブ	平成15年6月12日	77人	
	ルンビニ第二保育園幼年消防クラブ	平成21年4月1日	107人	
森 町	ときわ保育園幼年消防クラブ	平成4年4月1日	147人	
	摩耶保育園幼年消防クラブ	〃	111人	
	天方幼稚園幼年消防クラブ	平成7年12月20日	19人	
	飯田幼稚園幼年消防クラブ	〃	62人	
	一宮幼稚園幼年消防クラブ	〃	28人	
	園田幼稚園幼年消防クラブ	〃	62人	
	三倉幼稚園幼年消防クラブ	〃	6人	
	森幼稚園幼年消防クラブ	〃	93人	
小 計	袋井市 26クラブ 森 町 8クラブ	2,733人 528人		
合 計	34クラブ	3,261人		

### (3) 女性防火クラブ

現在 編成なし

危 險 物

## 危険物施設の概況

平成23年3月11日に発生した『東日本大震災』を教訓に地震・津波による危険物施設の被害を最小限に止めるため、各事業所には様々な検討、見直しをお願いしているところがあります。また、平成25年8月には京都府の花火大会会場で露店商店舗からガソリンの取扱いを誤ったことによる火災が発生し、住民の危険物に対する危険意識が高まっているところでもあります。当消防本部では、同様の災害を発生させないようにイベント等の開催時には、主催者や露店商組合等に火災予防指導を行っています。

平成26年度中は管内では危険物施設による火災は発生しておりませんが、事業主、危険物取扱者等に対し、危険物施設における適切かつ的確な保安管理業務を遂行するよう引き続き指導していきたいと考えます。

### 1 危険物施設の推移

製造所等の別		年 別									
		平成17年	平成18年	平成19年	平成20年	平成21年	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年度
製 造 所		7	7	8	8	8	9	9	9	11	11
貯 蔵 所	屋 内 貯 蔵 所	99	100	100	103	103	108	112	115	117	119
	屋外タンク貯蔵所	168	167	166	165	166	165	164	160	151	143
	屋内タンク貯蔵所	7	7	5	5	5	5	5	5	5	5
	地下タンク貯蔵所	79	77	81	75	76	76	77	74	73	71
	簡易タンク貯蔵所	5	5	5	5	5	5	5	5	5	4
	移動タンク貯蔵所	44	51	49	46	42	41	41	38	40	42
	屋 外 貯 蔵 所	12	13	12	12	10	10	10	10	11	10
小 計		414	420	418	411	407	410	414	407	402	394
取 扱 所	給 油 取 扱 所	89	90	90	82	81	80	80	79	76	74
	一 般 取 扱 所	102	99	99	97	100	96	96	92	90	89
	小 計	191	189	189	179	181	176	176	171	166	163
合 計		612	616	615	598	596	595	599	587	579	568

(平成26年から、年度集計にて計上しています。)

## 2 危険物施設状況

区分	製造所等の別	合計	貯蔵所							取扱所			
			屋内貯蔵所	屋外タンク貯蔵所	屋内タンク貯蔵所	地下タンク貯蔵所	簡易タンク貯蔵所	移動タンク貯蔵所	屋外貯蔵所	給油取扱所	販売取扱所	一般取扱所	
施設数		568	11	119	143	5	71	4	42	10	74		89
市町別	袋井市	496	10	97	130	5	63	4	40	9	59		79
	森町	72	1	22	13		8		2	1	15		10
類別施設数	混在	17	1	9									7
	第1類	2		1									1
	第2類	2		2									
	第3類												
	第4類	546	10	106	143	5	71	4	42	10	74		81
	第5類	1		1									
倍数別施設数	5倍以下	170	1	53	32	1	23	4	19	3	3		31
	5倍を超え10倍以下	104	4	22	20	1	17		1	5	4		30
	10倍を超え50倍以下	165	4	23	51	3	19		19	2	30		14
	50倍を超え100倍以下	59		9	23		8		3		6		10
	100倍を超え150倍以下	29	1	6	12		3				6		1
	150倍を超え200倍以下	14	1	5	1		1				6		
	200倍を超えるもの	27		1	4						19		3
計		211	25	10	17		12		9	4	26		108
事務処理数	許可	設置	7		3				2		1		1
		変更	71	9	2	6		4		3	1	8	38
	完成検査	設置	6		2				2		1		1
		変更	65	8	2	8		4		2	1	8	32
	仮使用承認	56	8	1	1		3			1	7		35
廃止届	6			2		1			1	1		1	

火

災

## 平成26年中の火災

平成26年中における出火件数は41件で、前年に比べ6件減少しており、約9日に1件の割合で火災が発生したことになります。

火災種別ごとにみると、「建物火災」が19件（46.3%）、「その他の火災」が9件（22.0%）、「車両火災」が7件（17.1%）、「林野火災」が6件（14.6%）の順となっています。

建物火災の焼損床面積は、551㎡で前年より432㎡の減少、焼損表面積は42㎡で前年より12㎡の増加となりました。また、その他の火災の焼損面積は、5,218㎡と前年より9,195㎡の減少となりました。

損害額は51,661千円で、前年に比べ19,499千円の減額となりました。その内、建物火災による損害額は49,825千円（車両2台の類焼を含む）で、全体の96.4%を占めています。

火災による死者は、袋井市で建物火災により2人、森町で建物火災と林野火災それぞれ1人ずつの2人でした。

火災による負傷者は、袋井市で4人、森町で1人でした。

主な出火原因は、第1位が「放火（疑い含む）」で8件、第2位は「たばこ」と「火入れ」でそれぞれ5件、第4位は「排気管」と「内燃機関」でそれぞれ3件、次いで「こんろ」、「配線器具」、「取灰」がそれぞれ2件でした。

# 1 火災の概況

## (1) 火災の状況

区 分		計	内 訳	
			袋井市	森 町
出 火 件 数		41	31	10
焼 損 面 積	建 物	551	412	139
	(㎡)			
	林 野 (a)	87	4	83
損 害 額 (千円)		51,661	38,696	12,965
人口1万人当りの出火件数		3.9	3.6	5.2

、 平成27年1月1日現在人口 (106,488人) (87,163人) (19,325人)

## (2) 火災の概要 (前年比較)

区 分		年 別		増 減
		平成26年	平成25年	
出 火 件 数	建 物	19	16	3
	林 野	6	2	4
	車 両	7	6	1
	そ の 他	9	23	△14
	計	41	47	△6
焼 損 面 積	建 物	551	983	△432
	(㎡)			
	林 野 (a)	87	18	69
	そ の 他 (㎡)	5,218	14,413	△9,195
損 害 額 (千円)		51,661	71,160	△19,499
死 者		4	1	3
負 傷 者		5	6	△1
り 災 世 帯 数		14	10	4
り 災 人 員		30	38	△8



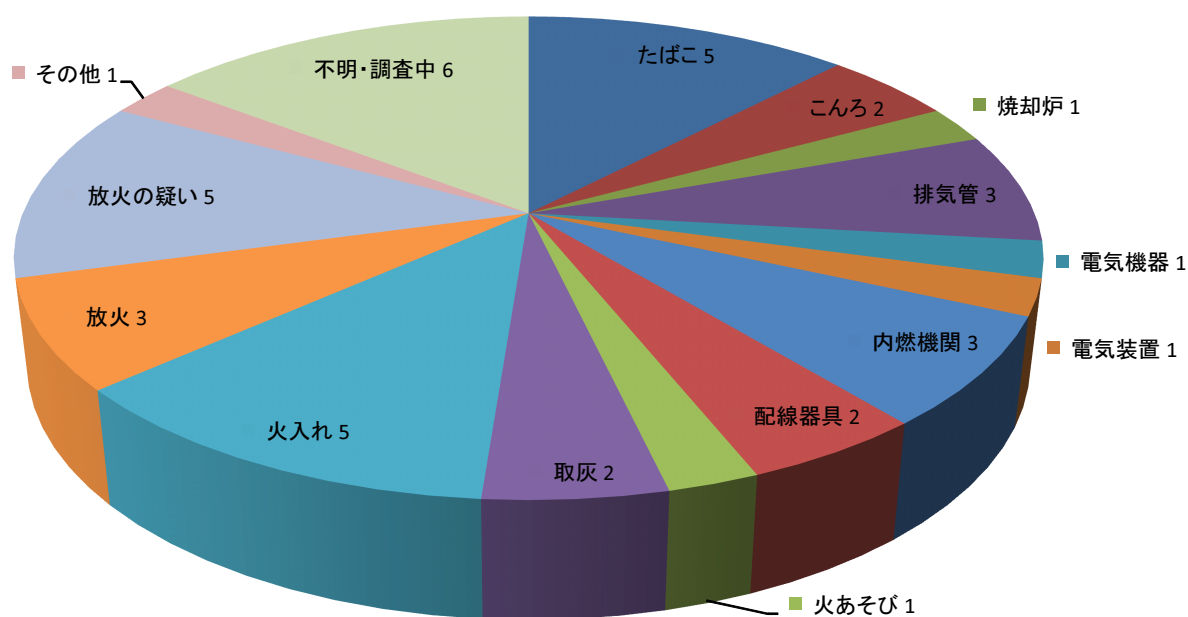
## 2 月別火災発生状況

区分	月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
出火件数		8	4	3	8	5	3	4	1	2	1	2		41
建物(件)		3	1	2	5	1	1	3		1		2		19
林野(件)		2	1	1	1	1								6
車両(件)						3	2			1	1			7
その他(件)		3	2		2			1	1					9
焼損棟数		3	1	2	10	1	1	3		1		2		24
住家全焼(棟)		1			2									3
住家半焼(棟)		1										1		2
住家部分焼(棟)			1	1	2	1								5
住家ぼや(棟)					1			2						3
非住家(棟)		1		1	5		1	1		1		1		11
罹災世帯数		2	1	1	5	1		3				1		14
罹災人員(人)		7	1	1	10	3		7				1		30
死者(人)		2	1			1								4
負傷者(人)		1			1	1		1				1		5
焼損面積	建物	床面積	148	10	31	286	35		6				35	551
	(㎡)	表面積	0			42								42
	林野(a)		10	0	46	1	30							87
	その他(㎡)		1,622	3,183		363			46	4				5,218
損害額(千円)			20,434	1,751	4,424	15,660	1,339	1,173	645	15	8	47	6,165	51,661
建物			20,396	1,751	3,534	15,585	1,040	645	645		8		6,165	49,769
林野					890	55								945
車両			36			20	299	121				47		523
その他			2					407		15				424

### 3 出火原因別火災発生状況

出火原因	区分	出火件数			火災種別				損害額 (千円)
		合計	袋井市	森町	建物	林野	車両	その他	
たばこ	こ	5	4	1	3	1		1	22,789
こんろ	ろ	2	2		2				656
焼却炉	炉	1		1		1			
排気管	管	3	2	1			3		97
電気機器	器	1	1		1				1,040
電気装置	置	1	1		1				
内燃機関	関	3	3				3		349
配線器具	具	2	2		1		1		2,533
火あそび	び	1	1		1				102
取灰	灰	2	1	1	1	1			5,016
火入れ	れ	5	4	1		1		4	
放火	火	3	3		3				967
放火の疑い	い	5	3	2	2	1		2	634
その他	他	1	1					1	2
不明・調査中		6	3	3	4	1		1	17,476
合計	計	41	31	10	19	6	7	9	51,661

出火件数 41 件



## 4 地区別火災発生状況

### (1) 袋井市

地区名	建物火災	林野火災	車両火災	その他の火災	合計
西	2			2	4
高尾	2			1	3
愛豊	1				1
北	3		2	2	7
東	1		1	1	3
今井			1		1
三川			1	1	2
笠原	1	1			2
山梨					
宇刈	1				1
浅羽北	2			1	3
浅名		1			1
浅羽西	2				2
浅羽東					
幸浦西					
幸浦東			1		1

### (2) 森町

地区名	建物火災	林野火災	車両火災	その他の火災	合計
天方		1			1
森					
一宮	1	1		1	3
園田	1	1	1		3
飯田	2	1			3
三倉					

## 5 過去5年間の火災状況

区分		年					
		平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	
出火件数		31	45	39	47	41	
建物(件)		13	14	12	16	19	
林野(件)			1	3	2	6	
車両(件)		5	6	2	6	7	
その他(件)		13	24	22	23	9	
焼損棟数		21	14	14	20	24	
住家全焼(棟)		3	2	3	1	3	
住家半焼(棟)				1	1	2	
住家部分焼(棟)		5	5	2	4	5	
住家ぼや(棟)		6	1	2	4	3	
非住家(棟)		7	6	6	10	11	
り災世帯数		13	8	7	10	14	
り災人員(人)		40	27	14	38	30	
死者(人)		2	1		1	4	
負傷者(人)		5	2	2	6	5	
焼損面積	建物 (㎡)	床面積	294	465	301	983	551
		表面積	74	59	25	30	42
	林野(a)			11	22	18	87
	その他(㎡)		1,894	15,309	4,963	14,413	5,218
損害額(千円)		36,221	45,970	21,240	71,160	51,661	
建物		34,880	45,658	17,409	70,561	49,769	
林野						945	
車両		946	303	112	545	523	
その他		395	9	3,719	54	424	

## 6 過去10年間の主な火災（損害額1千万円以上の火災）

区分 年月日	出火 時刻	発生場所	火元 用途	気象				焼損 面積	損害額 (千円)
				天候	風向	風速	湿度		
17. 1. 16	16 : 35	袋井市鷲巣	住宅	晴	WNW	7.0	55.0	73	13,159
2. 12	9 : 45	森町飯田	住宅等	晴	NW	5.0	38.0	401	24,325
5. 7	6 : 00	袋井市見取	住宅	晴	E	4.0	96.0	276	30,838
6. 13	1 : 48	袋井市友永	工場	曇	N	1.0	96.0	44	11,227
18. 7. 26	9 : 00	森町向天方	作業場	晴	SW	2.0	70.0	321	17,838
12. 18	11 : 35	袋井市久能	寺院	晴	WNW	6.0	20.0	71	16,512
19. 12. 24	15 : 51	袋井市下山梨	事務所等	晴	WNW	5.0	38.0	156	11,477
21. 10. 28	13 : 00	袋井市豊住	住宅	晴	SSW	4.0	50.0	106	15,063
21. 12. 2	12 : 10	袋井市宇刈	養鶏舎	晴	W	2.0	44.0	751	20,288
22. 11. 9	21 : 00	袋井市新池	住宅	晴	WNW	5.0	55.0	90	11,100
23. 10. 31	2 : 40	袋井市湊	住宅	雨	NNW	1.0	77.0	187	12,787
23. 12. 25	9 : 00	袋井市太田	住宅	晴	WNW	8.0	63.0	216	24,756
25. 4. 29	不明	袋井市高尾	住宅	晴	SW	6.0	47.0	118	14,044
25. 7. 17	14 : 00	袋井市川井	倉庫	曇	SSW	8.0	72.0	641	30,718
26. 1. 25	18 : 30	袋井市岡崎	住宅	曇	SW	4.0	11.0	127	18,327

通

信

## 通信の概況

当消防本部通信指令室は、平成24年4月1日から中東遠地区5市1町（磐田市・袋井市・掛川市・菊川市・御前崎市・森町）及び牧之原市の一部（旧相良町）の5消防本部において高機能指令装置を備えた「中東遠消防指令センター」を整備・移行し、119番通報を共同で受信するようになりました。（※牧之原市は平成25年3月を委託満了とし離脱）

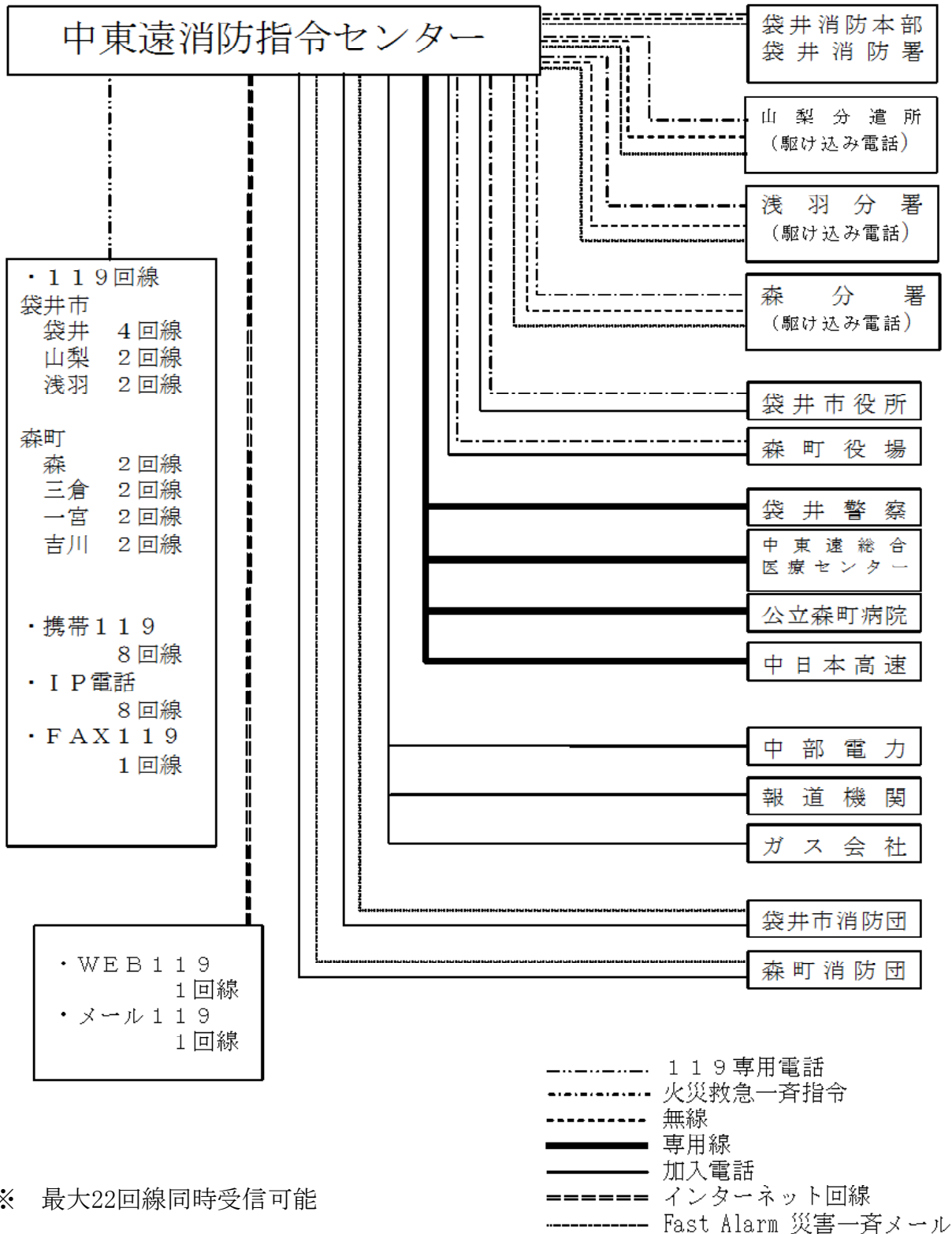
「中東遠消防指令センター」の主なシステムは、地図等検索装置、自動出動指定装置等から構成され、119番等の緊急通報に対する発信地表示システムの導入により、災害発生場所を早期に確定することができます。

さらに、最適な出動隊を自動で編成することにより、現場到着までの時間短縮に繋がり、災害による被害の軽減、救命率の向上を図っております。

また、救命率の更なる向上を図るため、通報者等に対し救急車が現場に到着するまでの間、応急処置の方法や心肺蘇生法等についての口頭指導を実施しております。



# 1 連絡の仕組み



※ 最大22回線同時受信可能

※ 山梨分遣所は平成26年4月1日に開所



## 2 消防無線の状況

基地局	署々別	呼出名	出力	機種名	搭載車両等	
ふくろいしょうぼう (消防波) 10W (県内波) 10W (全国波) 10W きゅうきゅうふくろい (救急波) 10W	本 部	移動局	◎ふくろい 51	10W	ゼネラル	指令車
			◎ふくろい 65	10W	ゼネラル	査察車
			◎ふくろい 66	10W	ゼネラル	マイクロバス
			○ふくろい 73	10W	ゼネラル	広報車
		携帯	◎ふくろい 151	1W	ゼネラル	消防長
			◎ふくろい 152	1W	ゼネラル	予防課長
			◎ふくろい 153	1W	ゼネラル	危険物係長
			◎ふくろい 154	1W	ゼネラル	予防係長
			◎ふくろい 155	1W	ゼネラル	火災原因調査用
			◎ふくろい 156	1W	ゼネラル	警防課長
			◎ふくろい 162	1W	ゼネラル	総務課長
			◎ふくろい 164	10W	ゼネラル	災害対策本部用
		◎ふくろい 185	10W	ゼネラル	中遠総合庁舎用	
		本 署	移動局	◎ふくろい 62	10W	ゼネラル
	◎ふくろい 1			10W	ゼネラル	水槽付ポンプ車
	◎ふくろい 2			10W	ゼネラル	ポンプ車
	◎ふくろい 7			10W	ゼネラル	化学車
	◎ふくろい 31			10W	ゼネラル	はしご車
	◎ふくろい 41			10W	ゼネラル	救助工作車
	◎ふくろい 61			10W	ゼネラル	連絡車
	◎ふくろい 74			10W	ゼネラル	水防車
	●きゅうきゅうふくろい 1			10W	ゼネラル	高規格救急車
	●きゅうきゅうふくろい 2		10W	ゼネラル	高規格救急車	
	携帯		◎ふくろい 159	1W	ゼネラル	指揮車
			○ふくろい 160	1W	ゼネラル	指揮車
			◎ふくろい 101	1W	ゼネラル	水槽付ポンプ車
			◎ふくろい 102	5W	ゼネラル	水槽付ポンプ車
		◎ふくろい 103	5W	ゼネラル	ポンプ車	
◎ふくろい 104		1W	ゼネラル	ポンプ車		
◎ふくろい 105		1W	ゼネラル	化学車		
◎ふくろい 106		1W	ゼネラル	化学車		
○ふくろい 157		1W	ゼネラル	はしご車		
◎ふくろい 108		1W	ゼネラル	救助工作車		
◎ふくろい 109		1W	ゼネラル	救助工作車		
◎ふくろい 110	1W	ゼネラル	高規格救急車			
◎ふくろい 163	5W	ゼネラル	高規格救急車			
◎ふくろい 171	1W	ゼネラル	消防署長			
◎ふくろい 172	1W	ゼネラル	副署長			
山梨分遣所	移動局	◎ふくろい 8	10W	ゼネラル	水槽付ポンプ車	
		●きゅうきゅうふくろい 3	10W	ゼネラル	高規格救急車	
	携帯	◎ふくろい 158	1W	ゼネラル	水槽付ポンプ車	
		◎ふくろい 161	1W	ゼネラル	水槽付ポンプ車	
◎ふくろい 107	5W	ゼネラル	高規格救急車			

◎全国波搭載    ○県内波搭載    ●救急波搭載

基地局	署々別	呼出名	出力	機種名	搭載車両等
もりしょうぼう (消防波) 5W (県内波) 5W	森 移動局	◎ふくろい 4	10W	ゼネラル	水槽付ポンプ車
		◎ふくろい 5	10W	ゼネラル	ポンプ車
		◎ふくろい 63	10W	ゼネラル	連絡車
		●きゅうきゅうもり 1	10W	ゼネラル	高規格救急車
	分 署 携帯	◎ふくろい 121	5W	ゼネラル	水槽付ポンプ車
		◎ふくろい 122	5W	ゼネラル	水槽付ポンプ車
		◎ふくろい 123	5W	ゼネラル	ポンプ車
		◎ふくろい 124	5W	ゼネラル	ポンプ車
		◎ふくろい 125	5W	ゼネラル	高規格救急車
		◎ふくろい 173	1W	ゼネラル	森分署長
あさばしょうぼう (消防波) 5W (県内波) 5W	浅 羽 移動局	◎ふくろい 3	10W	ゼネラル	水槽付ポンプ車
		◎ふくろい 6	10W	ゼネラル	ポンプ車
		◎ふくろい 64	10W	ゼネラル	連絡車
		●きゅうきゅうあさば 1	10W	ゼネラル	高規格救急車
	分 署 携帯	◎ふくろい 131	1W	ゼネラル	水槽付ポンプ車
		◎ふくろい 132	1W	ゼネラル	水槽付ポンプ車
		◎ふくろい 133	1W	ゼネラル	ポンプ車
		◎ふくろい 134	1W	ゼネラル	ポンプ車
		◎ふくろい 135	1W	ゼネラル	高規格救急車
		◎ふくろい 174	1W	ゼネラル	浅羽分署長

◎全国波搭載    ○県内波搭載    ●救急波搭載

#### 400MHz帯無線

署々別	呼出名	出力	機種名
本 署 携 帯	○ふくろい 400	1W	ゼネラル
	○ふくろい 401	1W	ゼネラル
	○ふくろい 402	1W	ゼネラル
	○ふくろい 403	1W	ゼネラル
	○ふくろい 404	1W	ゼネラル
	○ふくろい 405	1W	ゼネラル
	○ふくろい 406	1W	ゼネラル
	○ふくろい 407	1W	ゼネラル
	○ふくろい 408	1W	ゼネラル
	○ふくろい 409	1W	ゼネラル
	○ふくろい 410	1W	ゼネラル
	○ふくろい 411	1W	ゼネラル
	○ふくろい 412	1W	ゼネラル
	○ふくろい 413	1W	ゼネラル
	○ふくろい 414	1W	ゼネラル
	○ふくろい 415	1W	ゼネラル
	○ふくろい 416	1W	ゼネラル
	○ふくろい 417	1W	ゼネラル
	○ふくろい 418	1W	ゼネラル
○ふくろい 419	1W	ゼネラル	
山 梨 携 帯	○ふくろい 441	1W	ゼネラル
	○ふくろい 442	1W	ゼネラル
	○ふくろい 443	1W	ゼネラル
	○ふくろい 444	1W	ゼネラル

◎全国波搭載    ○県内波搭載    ●救急波搭載

### 3 電話設置状況

種 別 \ 所 属 別	指令センター	本部・本署	山梨分遣所	森分署	浅羽分署	計
1 1 9 専 用 回 線	32					32
F A X 1 1 9	1					1
W E B 1 1 9	1					1
メ ー ル 1 1 9	1					1
駆 け 込 み 通 報 装 置			1	1	1	3
袋 井 警 察 専 用 線	1					1
中 日 本 高 速 専 用 線	1					1
中 東 遠 総 合 医 療 セ ン タ ー 専 用 線	1					1
公 立 森 町 病 院 専 用 線	1					1
加 入 電 話	12	6	1	1	1	21
F A X	2	2	1	1	1	7
指 令 セ ン タ ー 内 線 電 話	30	1	1	1	1	34
テ レ ホ ン サ ー ビ ス 電 話		2				2
救 急 車 等 携 帯 電 話	1	5	1	2	2	11
衛 星 携 帯 電 話	1	2		1		4
森 町 役 場 内 線 電 話				1		1
計	85	18	5	8	6	122

※ 119番回線は最大22回線まで同時受信可能

## 4 中東遠地域災害情報受信状況

平成26年の中東遠地域における119番通報は18,659件、1日当たり約51件です。

内訳は、火災・救急・救助・その他災害等の緊急通報が14,990件、いたずら50件、間違い1,347件、問合せ1,592件、その他680件で、緊急性のある通報は全体の80.3%です。（試験等は除く）

なお、NTT固定電話による通報が6,732件と一番多く、次いで携帯電話が6,363件、IP電話が5,564件となっています。

平成26年の袋井消防本部管内（袋井市・森町）における119番通報は4,416件です。

内訳は、火災・救急・救助・その他災害等の緊急通報が3,426件、いたずら10件、間違い304件、問合せ461件、その他215件で、緊急性のある通報は全体の77.6%です。

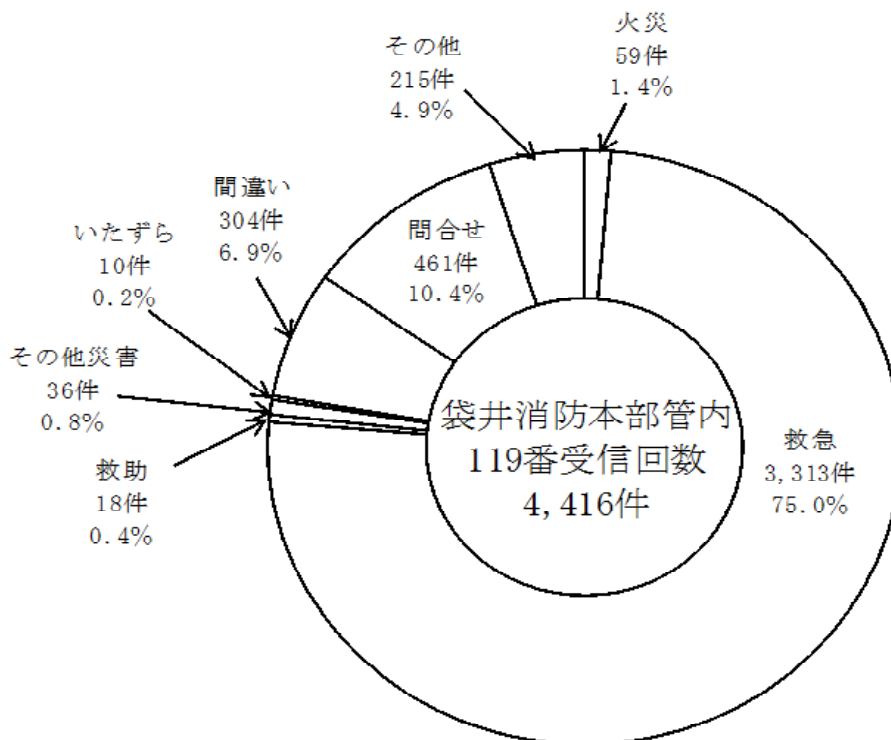
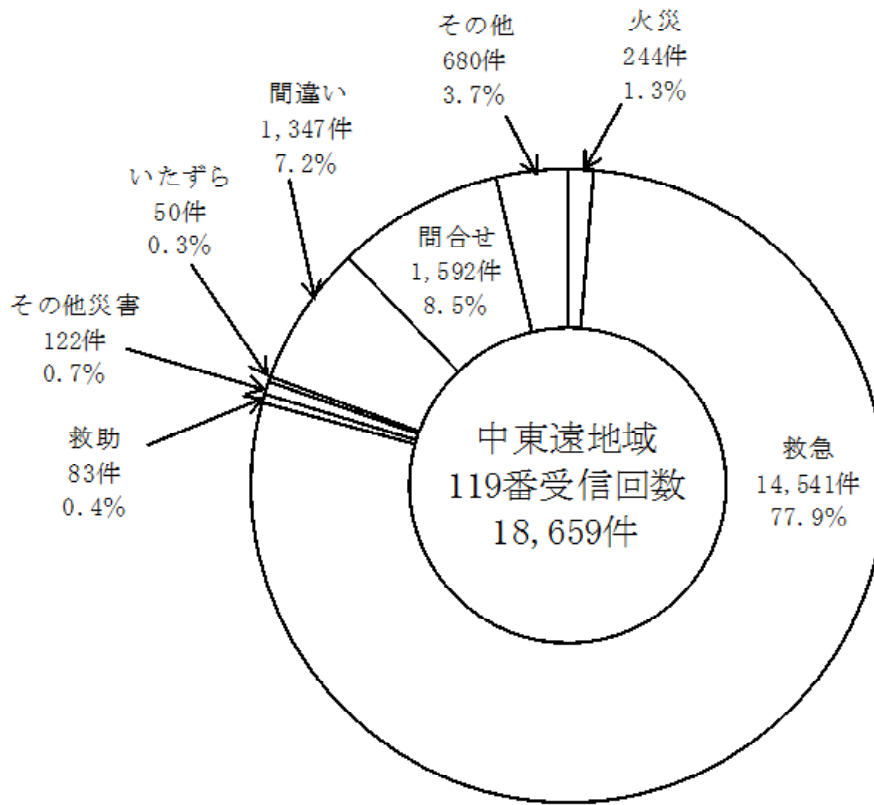
なお、NTT固定電話による通報が1,784件と一番多く、次いで携帯電話が1,436件、IP電話が1,196件となっています。

中東遠地域での袋井消防本部管内の119番受信比率は23.7%で、人口比率の22%（平成22年国勢調査データ参考）とほぼ同程度となっています。（※牧之原市は平成25年3月を委託満了とし離脱）

### （1）119番通報受付（切断）状況（平成26年）

種別	中東遠（5市1町）				袋井消防本部（袋井市・森町）			
	固定	IP	携帯	計	固定	IP	携帯	計
火災	52	54	138	244	18	11	30	59
救急	5,417	4,801	4,323	14,541	1,309	1,038	966	3,313
救助	14	14	55	83	7	1	10	18
その他災害	36	19	67	122	16	4	16	36
小計	5,519	4,888	4,583	14,990	1,350	1,054	1,022	3,426
いたずら	20	6	24	50	6	1	3	10
間違い	381	205	761	1,347	92	36	176	304
問合せ	528	339	725	1,592	216	81	164	461
その他	284	126	270	680	120	24	71	215
小計	1,213	676	1,780	3,669	434	142	414	990
合計	6,732	5,564	6,363	18,659	1,784	1,196	1,436	4,416

119番通報受付（切断）状況（平成26年）



※ 試験・通報訓練は除く

## (2) 袋井消防本部（袋井市・森町）月別119番通報受付状況

		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
火災	固定	7	0	1	7	0	0	0	1	1	0	1	0	18
	I P	1	0	1	4	1	1	2	0	0	0	1	0	11
	携帯	5	4	1	6	8	0	2	1	1	1	1	0	30
	小計	13	4	3	17	9	1	4	2	2	1	3	0	59
救急	固定	152	105	134	87	116	105	102	88	84	110	108	118	1,309
	I P	99	85	99	76	76	82	85	72	72	90	96	106	1,038
	携帯	80	87	55	65	69	83	85	99	88	69	88	98	966
	小計	331	277	288	228	261	270	272	259	244	269	292	322	3,313
救助	固定	0	2	0	0	1	2	0	0	1	1	0	0	7
	I P	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	携帯	2	1	0	2	1	0	0	2	2	0	0	0	10
	小計	2	4	0	2	2	2	0	2	3	1	0	0	18
その他災害	固定	0	0	1	0	2	2	4	1	2	4	0	0	16
	I P	1	0	1	0	1	0	0	0	0	1	0	0	4
	携帯	0	4	0	1	1	0	1	1	1	4	2	1	16
	小計	1	4	2	1	4	2	5	2	3	9	2	1	36
いたずら	固定	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2	6
	I P	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
	携帯	1	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	3
	小計	4	0	0	0	1	0	0	0	1	0	1	3	10
間違い	固定	10	9	9	3	8	8	6	5	8	10	10	6	92
	I P	0	0	4	3	4	1	4	3	6	5	2	4	36
	携帯	14	15	19	10	8	15	17	25	14	11	14	14	176
	小計	24	24	32	16	20	24	27	33	28	26	26	24	304
問合せ	固定	51	31	45	16	14	12	5	4	8	13	11	6	216
	I P	4	4	10	1	8	13	3	5	12	8	6	7	81
	携帯	19	15	13	11	12	12	11	11	10	16	17	17	164
	小計	74	50	68	28	34	37	19	20	30	37	34	30	461
その他	固定	20	20	27	13	2	12	6	2	2	7	2	7	120
	I P	1	4	3	1	0	0	3	2	2	3	1	4	24
	携帯	2	4	6	9	7	5	10	7	6	4	4	7	71
	小計	23	28	36	23	9	17	19	11	10	14	7	18	215
合計		472	391	429	315	340	353	346	329	321	357	365	398	4,416

## 5 車載端末装置の設置状況

車載端末装置とは、車両動態管理システム（AVM）とGPSによる位置通知システム、消防専用カーナビゲーションシステムを有した液晶タッチパネル式のナビゲーションシステムであります。緊急自動車に設置することで、災害現場に直近の部隊を自動で編成するとともに、指令と同時に災害現場までの最短ルートや通報時の情報等を車載端末モニターに表示することができるなど、迅速な初動体制を実現します。

署所	車両名称	搭載車両等	機種名	備考
本部	袋井 51	指令車	Ⅱ型	
	袋井 52	指揮支援車	Ⅲ型	
	袋井 65	査察車	Ⅲ型	
	袋井 73	広報車	Ⅲ型	
本署	袋井 62	指揮車	Ⅲ型	
	袋井 1	水槽付ポンプ車	Ⅲ型	
	袋井 2	ポンプ車	Ⅲ型	
	袋井 7	化学車	Ⅲ型	
	袋井 31	はしご車	Ⅲ型	
	袋井 41	救助工作車	Ⅲ型	
	袋井 61	連絡車	Ⅱ型	
	袋井 74	水防車	Ⅲ型	
	救急袋井 1	高規格救急車	Ⅲ型	
	救急袋井 2	高規格救急車	Ⅲ型	
山分遣梨所	袋井 8	水槽付ポンプ車	Ⅲ型	
	救急袋井 3	高規格救急車	Ⅲ型	
浅羽分署	袋井 3	水槽付ポンプ車	Ⅲ型	
	袋井 6	ポンプ車	Ⅲ型	
	袋井 64	連絡車	Ⅱ型	
	救急浅羽 1	高規格救急車	Ⅲ型	
森分署	袋井 4	水槽付ポンプ車	Ⅲ型	
	袋井 5	ポンプ車	Ⅲ型	
	袋井 63	連絡車	Ⅲ型	
	救急森 1	高規格救急車	Ⅲ型	

Ⅱ型とⅢ型の違いについて

Ⅱ型… 車両動態管理システム（AVM）とGPSによる位置通知システムを有する。

Ⅲ型… 車両動態管理システム（AVM）とGPSによる位置通知システム、消防専用カーナビゲーションシステムを有する。

## 6 ドクターヘリコプターの要請状況

月 別	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	合計
要 請 件 数	1	2	0	9	7	4	4	1	3	2	6	7	46
搬 送 人 員	0	2	0	3	3	0	1	1	3	1	2	2	18

※ 搬送人員は、ヘリ搬送及びDr.カー方式での搬送を含む



警

防

## 警防の概況

近年、科学技術等の発達に伴い、火災等の災害も広域化、多様化してきております。

これらの災害から、地域住民の生命と財産を守り、生活の安全を確保するため、現有消防施設(車両機器等)を有効かつ最大限に活用して、各種災害事象に即応することが消防に課せられた使命であります。また、これらを運用する職員の専門的知識、高度な技術の習得が必要となっており、教育訓練の充実を図るべく日夜教育、訓練に励んでおります。

# 1 消防本部・消防署の車両状況

(1) 現有台数 ( )内は予備車 (うち数)

平成27年4月1日現在

車両別	署々別						計
	本 部	本署	山梨分遣所	浅羽分署	森分署		
消 防 ポ ン プ 自 動 車		1			1	1	3
水 槽 付 消 防 ポ ン プ 自 動 車		1	1		1	1	4
は し ご 付 消 防 ポ ン プ 自 動 車		1					1
化 学 消 防 ポ ン プ 自 動 車		1					1
救 助 工 作 車		1					1
高 規 格 救 急 自 動 車		2	1		1	1	5
指 令 車	1						1
指 揮 車		1					1
指 揮 支 援 車	1						1
査 察 車 ・ 連 絡 車 ・ 広 報 車	2	1			1	1	5
人 員 搬 送 車	1						1
水 防 車		1					1
計	5	10	2	4	4		25

(2) 配置状況

平成27年4月1日現在

区 分	車 両 名	車 種	購 入 年 度	製 造 所	ポ ン プ		経 過 年 数	登 録 番 号
					型 式	級 別		
本 部	指 令 車	トヨタH12					14	浜松800さ3472
	指 揮 支 援 車	トヨタH10					16	浜松800さ 672
	査 察 車	ホンダH20					6	浜松800サ2160
	広 報 車	スズキH13					13	浜松800さ4839
	人 員 搬 送 車	トヨタH3					22	浜松 2232778
本 署	消 防 ポ ン プ 自 動 車	日 野H25	モ リ タ	バ ラ ン ス タ ー ビ ン	A-2	1	浜松800サ5309	
	水 槽 付 消 防 ポ ン プ 自 動 車	日 野H14	モ リ タ	バ ラ ン ス タ ー ビ ン	A-2	12	浜松830は 119	
	は し ご 付 消 防 ポ ン プ 自 動 車	日 野H7	モ リ タ	バ ラ ン ス タ ー ビ ン	A-2	19	浜松 88に2427	
	化 学 消 防 ポ ン プ 自 動 車	日 野H24	モ リ タ	バ ラ ン ス タ ー ビ ン	A-2	2	浜松800は 837	
	救 助 工 作 車	日 野H24	モ リ タ			2	浜松800は 835	
	高 規 格 救 急 自 動 車	トヨタH21		高 度 救 命 用 資 機 材		5	浜松800サ2964	
	高 規 格 救 急 自 動 車	トヨタH26		高 度 救 命 用 資 機 材		0	浜松800サ5779	
	指 揮 車	トヨタH12				14	浜松800さ3468	
	連 絡 車	ダイハツH18				8	浜松883あ 61	
	水 防 車	マツダH13				13	浜松800サ4148	
山 梨	水 槽 付 消 防 ポ ン プ 自 動 車	日 産H11		畠 山 ポ ン プ	A-1	15	浜松800さ2121	
	高 規 格 救 急 自 動 車	トヨタH24		高 度 救 命 用 資 機 材		2	浜松800サ4741	
浅 羽 分 署	消 防 ポ ン プ 自 動 車	日 野H17		畠 山 ポ ン プ	A-2	9	浜松800さ9552	
	水 槽 付 消 防 ポ ン プ 自 動 車	いすゞH26	モ リ タ	バ ラ ン ス タ ー ビ ン	A-2	0	浜松800は 931	
	高 規 格 救 急 自 動 車	トヨタH18		高 度 救 命 用 資 機 材		8	浜松800サ 717	
	連 絡 車	トヨタH12				14	浜松800さ3470	
森 分 署	消 防 ポ ン プ 自 動 車	日 野H20	モ リ タ	バ ラ ン ス タ ー ビ ン	A-2	6	浜松800サ2294	
	水 槽 付 消 防 ポ ン プ 自 動 車	いすゞH16	モ リ タ	バ ラ ン ス タ ー ビ ン	A-2	10	浜松800は 390	
	高 規 格 救 急 自 動 車	トヨタH19		高 度 救 命 用 資 機 材		7	浜松800サ1521	
	連 絡 車	トヨタH12				14	浜松800さ3469	

## 2 消防水利の状況

平成27年4月1日現在

区分 地域別	公設消火栓			公設防火水槽								防火井戸	総計	
	地下	地上	合計	耐震性			小計	非耐震性		小計	合計			
				40 t	60 t	100 t		40 t未満	40 t以上					
袋井市	1,212	9	1,221	331	5	41	377	200	50	250	627	28	1,876	
森町	228	5	233	40			40	58	10	68	108		341	
計	1,440	14	1,454	371	5	41	417	258	60	318	735	28	2,217	
袋井市	西地区	127	1	128	32	2	5	39	15	3	18	57	1	186
	高尾 "	117	2	119	24	1	8	33	3	4	7	40	2	161
	愛豊 "	115		115	34		2	36	16	0	16	52		167
	北 "	160		160	41		5	46	17	1	18	64	10	234
	東 "	87	1	88	13		4	17	13	1	14	31		119
	今井 "	51		51	23		1	24	16		16	40		91
	三川 "	51		51	16	1	1	18	13	4	17	35		86
	笠原 "	74		74	22		1	23	26	7	33	56		130
	山梨 "	98		98	23	1	6	30	5	5	10	40	9	147
	宇刈 "	34		34	15			15	12	3	15	30		64
	浅羽北 "	81	2	83	14		2	16	18	10	28	44	1	128
	浅名 "	35	1	36	12		3	15	9	2	11	26		62
	浅羽西 "	54		54	21		1	22	10	3	13	35		89
	浅羽東 "	48		48	25		1	26	8	1	9	35	1	84
	幸浦西 "	39	1	40	9		1	10	8	3	11	21	2	63
	幸浦東 "	41	1	42	7			7	11	3	14	21	2	65
森町	天方 "	4		4	2			2	5		5	7		11
	森 "	103	4	107	12			12	3	6	9	21		128
	一宮 "	36		36	5			5	6	1	7	12		48
	園田 "	36		36	8			8	23	1	24	32		68
	飯田 "	49	1	50	6			6	13	2	15	21		71
	三倉 "				7			7	8		8	15		15

救

急

## 救急の概況

平成26年1月1日から12月31日までの救急活動状況は、出動件数3,534件、搬送人員3,166人で、前年に比べ出動件数79件、搬送人員38人が、それぞれ減少しました。

このことは1日平均約9.7件で、約2時間29分に1回の割合で救急車が出動したことになります。

なお、ポンプ車が救急隊支援のため同時出動(PA出動)した事案は811件(22.9%)ありました。

出動件数を11種類に分類した事故種別で見ると、第1位「急病」、第2位「一般負傷」、以下「交通事故」、「その他」等の順番となり、急病2,251件(63.7%)、一般負傷473件(13.4%)の両種別が、全体の77.1%を占めています。

搬送人員は3,166人で、第1位「急病」2,008人(63.4%)、第2位「一般負傷」426人(13.5%)となり、両種別で全体の76.9%を占めています。

また、収容先病(医)院状況では、「中東遠総合医療センター、公立森町病院」を中心に管内の5病(医)院へ2,775人(87.7%)、管外の病(医)院へ391人(12.3%)収容いたしました。

なお、中東遠総合医療センターは管内で計上してあります。

このうち、高齢者(65歳以上)の搬送人員は、1,860人(58.7%)でありました。

1日当たりの最多救急出動件数            20件

1件当たりの最多救急搬送人員            2人

## 1 市町別救急出動状況

市町別	年別	平成26年		平成25年		比較増減
		出動件数	構成比%	出動件数	構成比%	
袋井市		2,875	81.4	2,917	80.7	▲ 42
森町		622	17.6	653	18.1	▲ 31
東名		11	0.3	8	0.2	3
新東名		23	0.6	29	0.8	▲ 6
管轄外		3	0.1	6	0.2	▲ 3
合計		3,534	100.0	3,613	100.0	▲ 79

## 2 事故別救急出動状況

事故別	区分	出動件数	救急件数	支援出動	出動件数	搬送人員(人)		
		(件)	(件)	(件)	構成比%	男	女	計
火災		16	5	5	0.5	1	4	5
自然災害		2			0.1			
水難		1		1				
交通		380	331	137	10.8	210	132	342
労働災害		40	38	14	1.1	35	3	38
運動競技		35	34	2	1.0	28	6	34
一般負傷		473	424	76	13.4	215	211	426
加害		19	16	6	0.5	12	4	16
自損行為		36	21	27	1.0	11	10	21
急病		2,251	2,006	540	63.7	1,123	885	2,008
その他		281	276	3	7.9	152	124	276
合計		3,534	3,151	811	100.0	1,787	1,379	3,166

※ 救急件数とは、患者を搬送した件数。

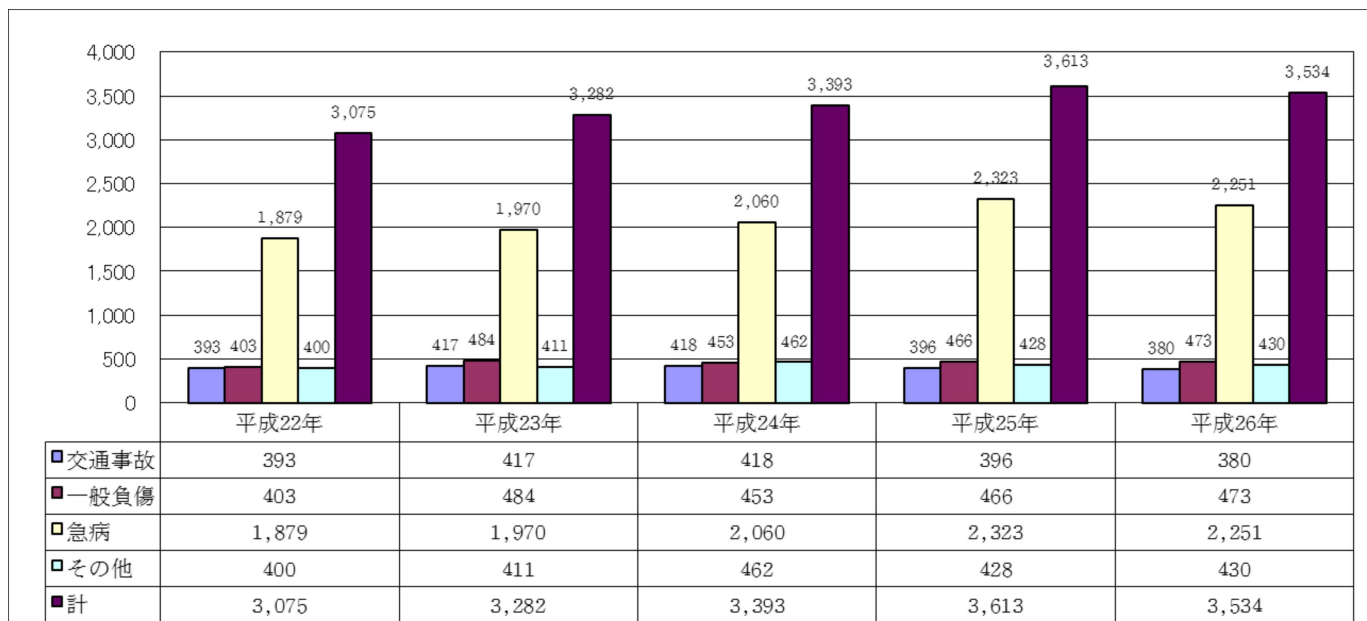
※ 支援件数とは、ポンプ車等が出動した件数。

※ 構成比は、小数点第2位以下を調整し100.0%にしています。

### 3 市町別事故別救急出動状況

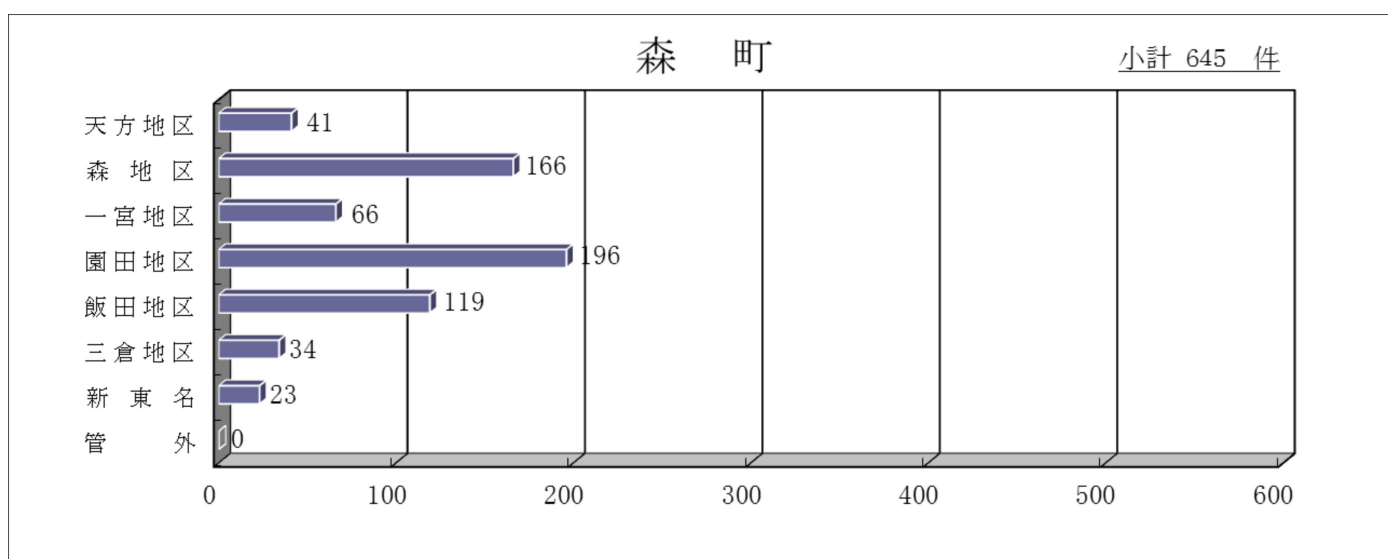
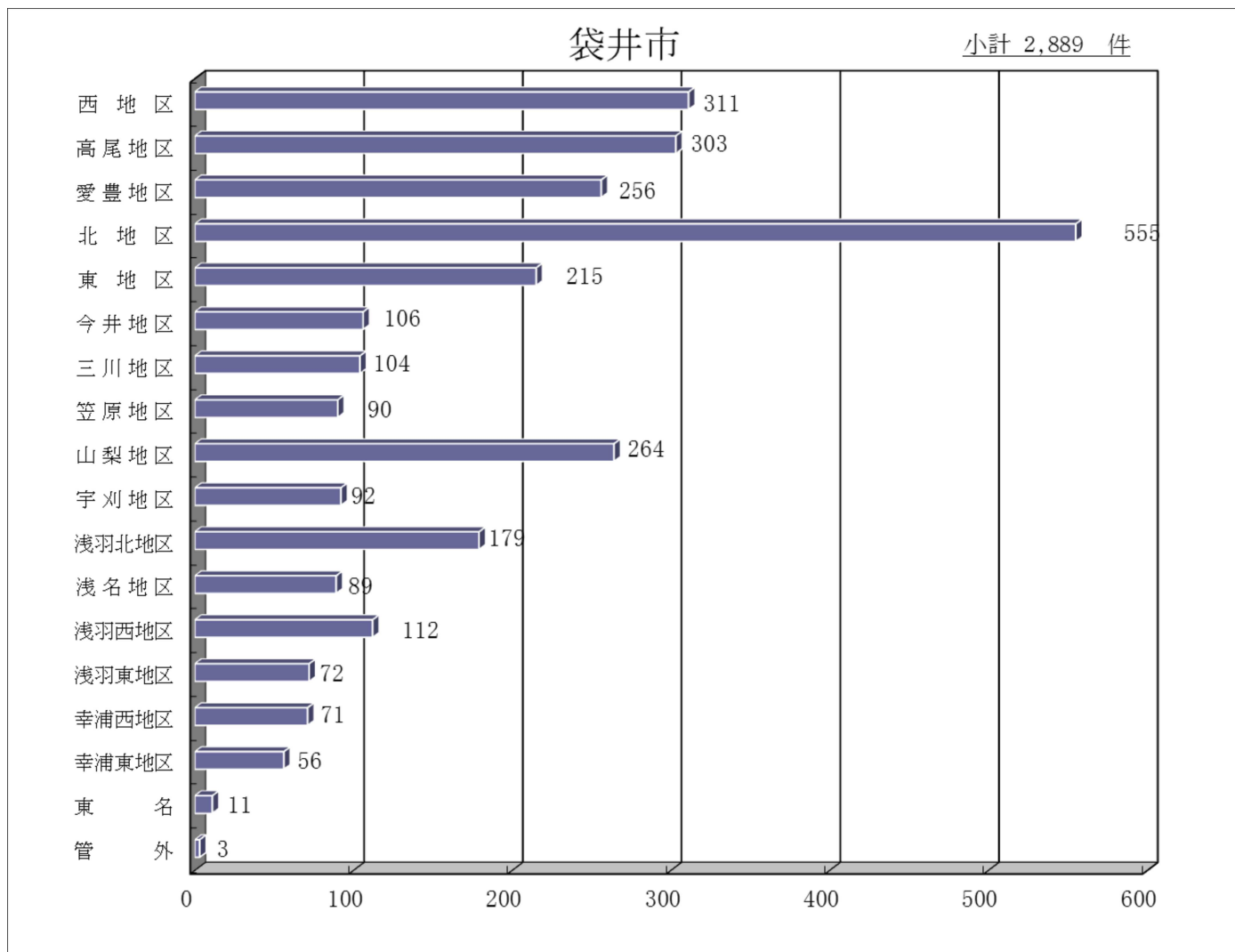
市 町 別	袋井市		森 町		東 名		新東名		管轄外		合計
	件数	構成比%	件数	構成比%	件数	構成比%	件数	構成比%	件数	構成比%	
火 災	13	0.5	3	0.5							16
自然災害	2	0.1									2
水 難			1	0.2							1
交 通	325	11.3	41	6.6	5	45.5	6	26.1	3	100.0	380
労働災害	27	0.9	12	1.9			1	4.3			40
運動競技	34	1.2	1	0.2							35
一般負傷	380	13.2	93	14.9							473
加 害	19	0.7									19
自損事故	32	1.1	4	0.6							36
急 病	1,861	64.7	368	59.2	6	54.5	16	69.6			2,251
そ の 他	182	6.3	99	15.9							281
計	2,875	100.0	622	100.0	11	100.0	23	100.0	3	100.0	3,534

### 4 最近5年間の救急出動件数

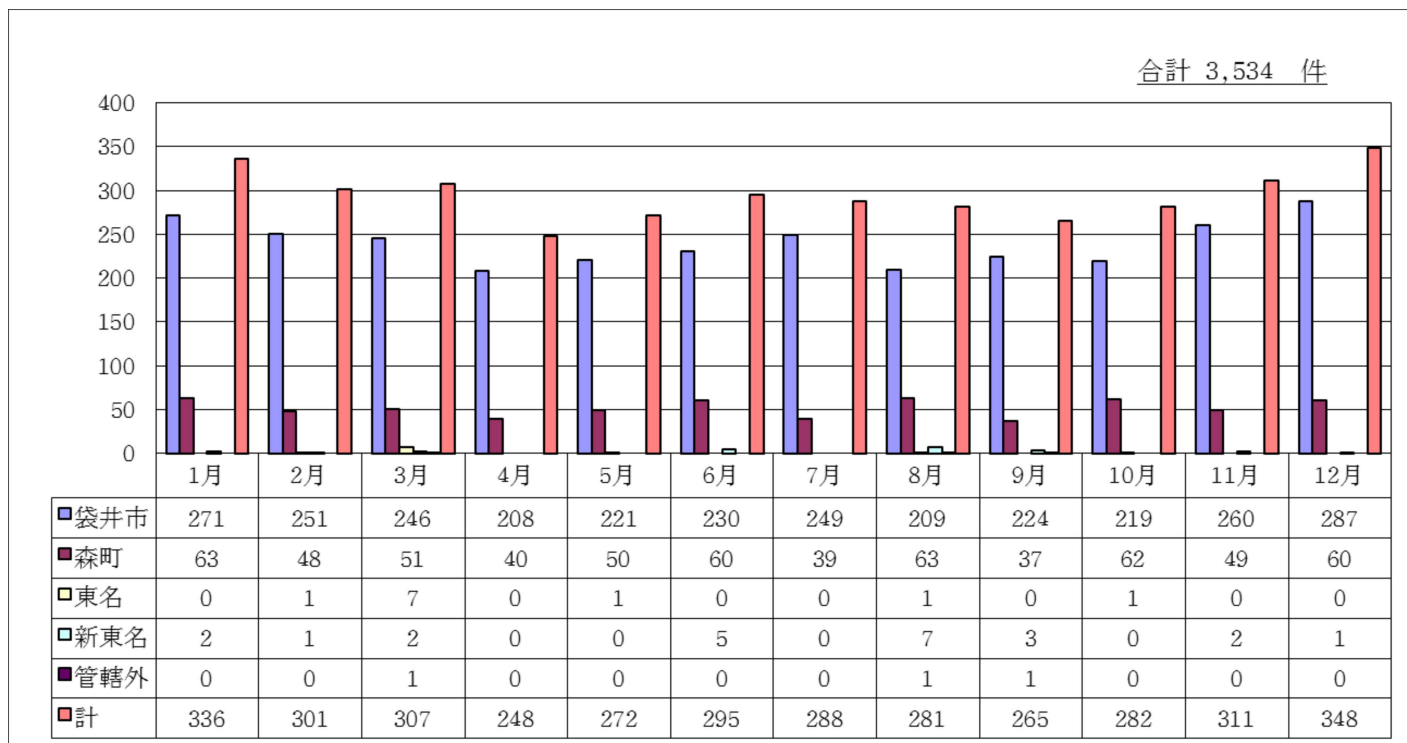




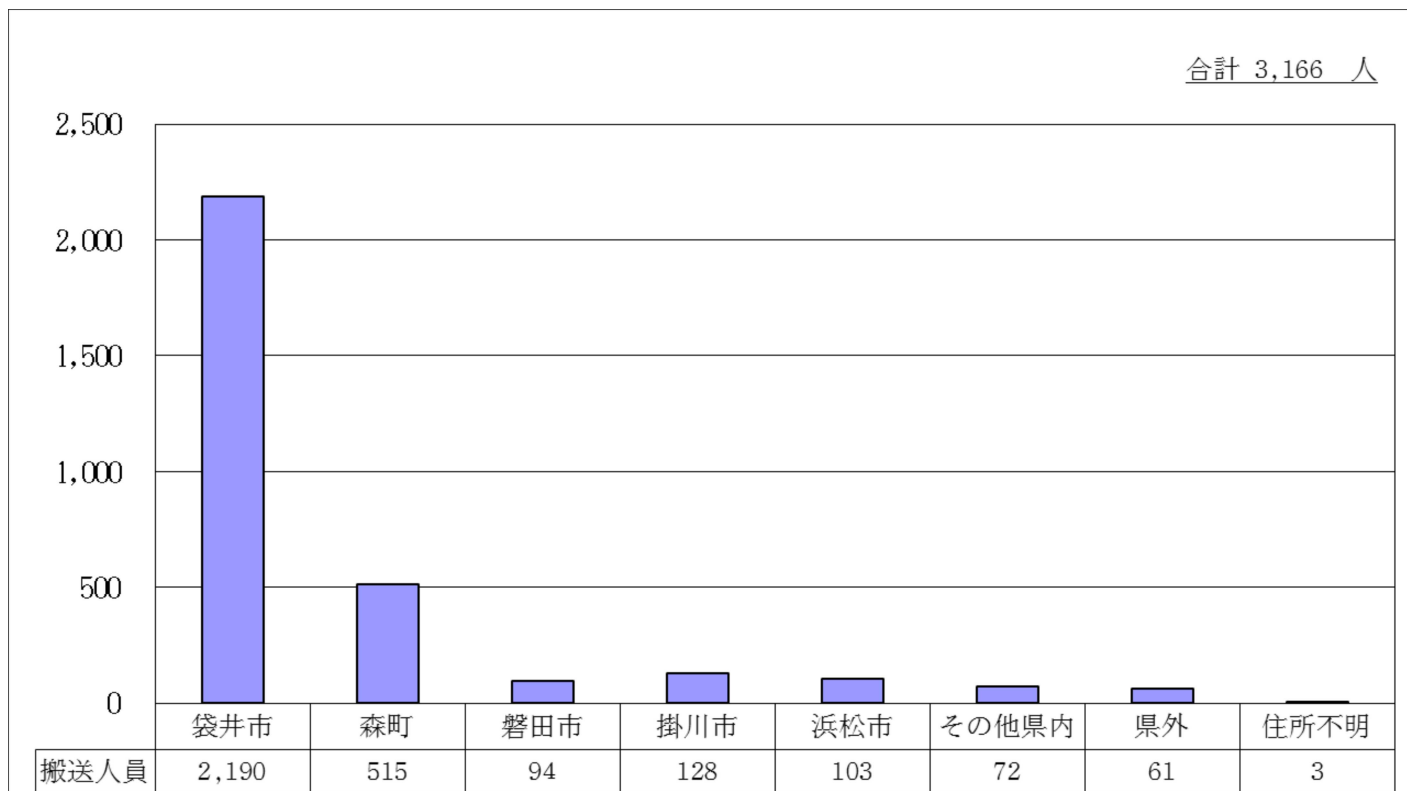
5 地区別出動状況（出動件数合計 3,534件）



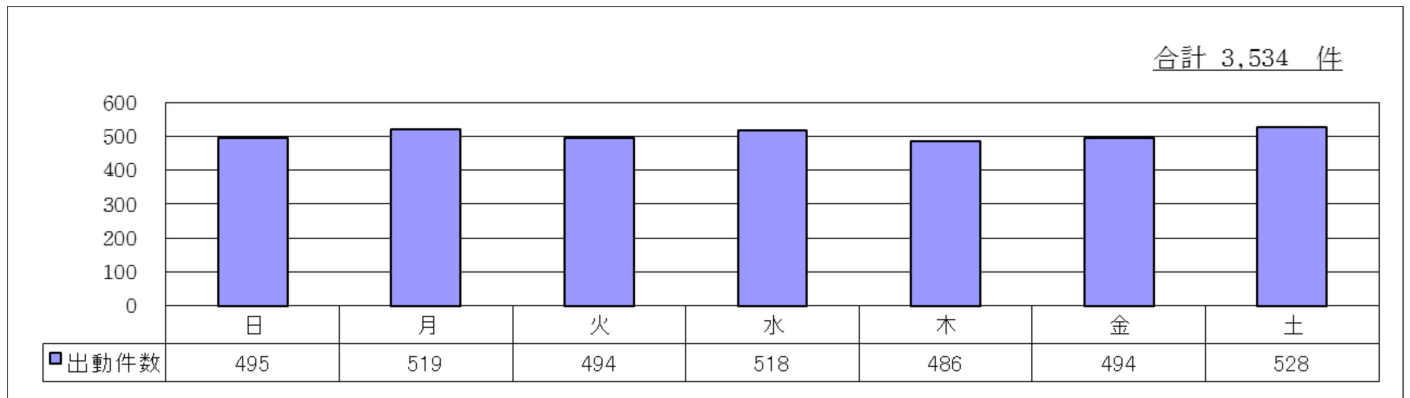
## 6 市町別月別救急出動状況



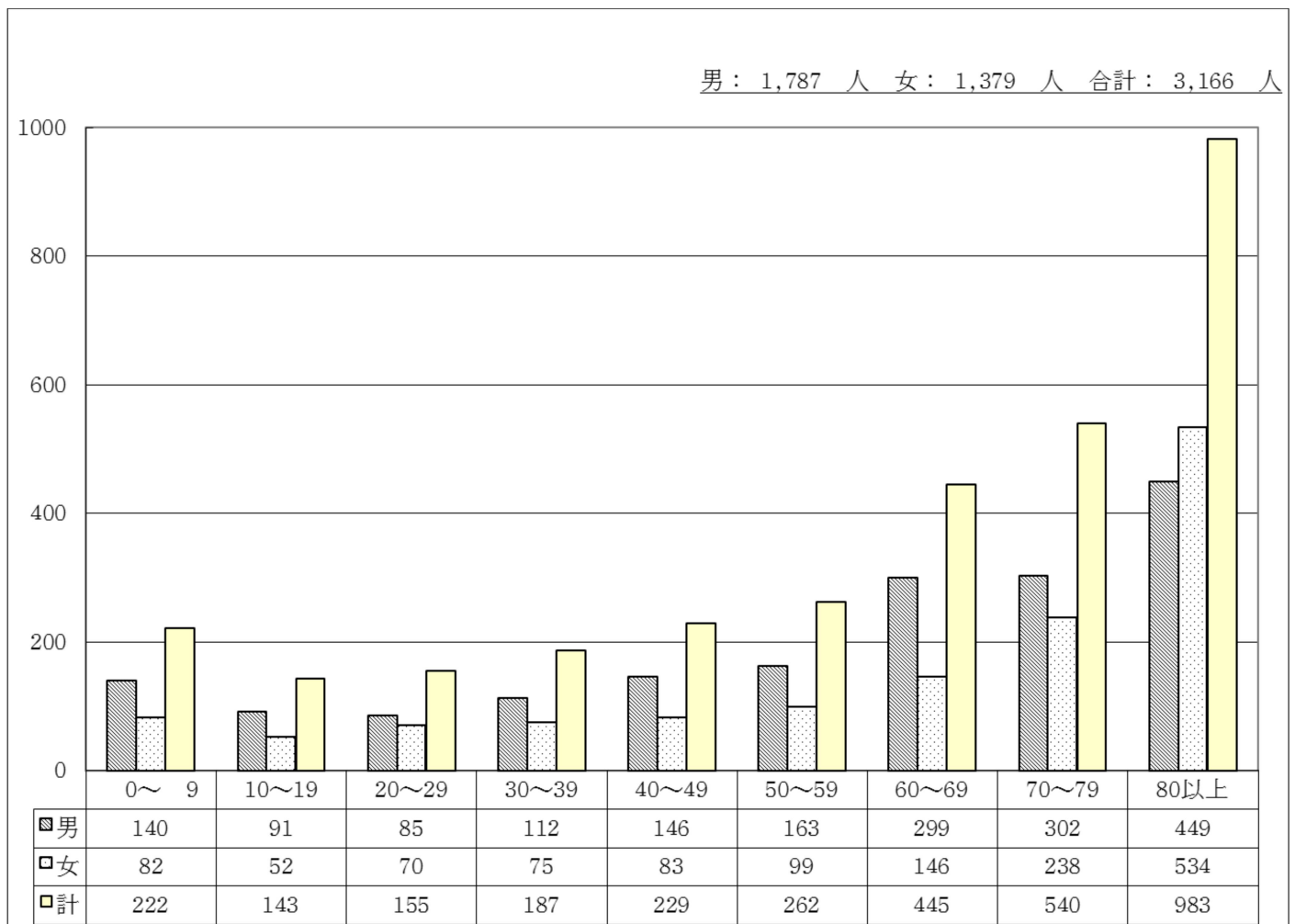
## 7 地域別搬送人員



## 8 曜日別出動状況



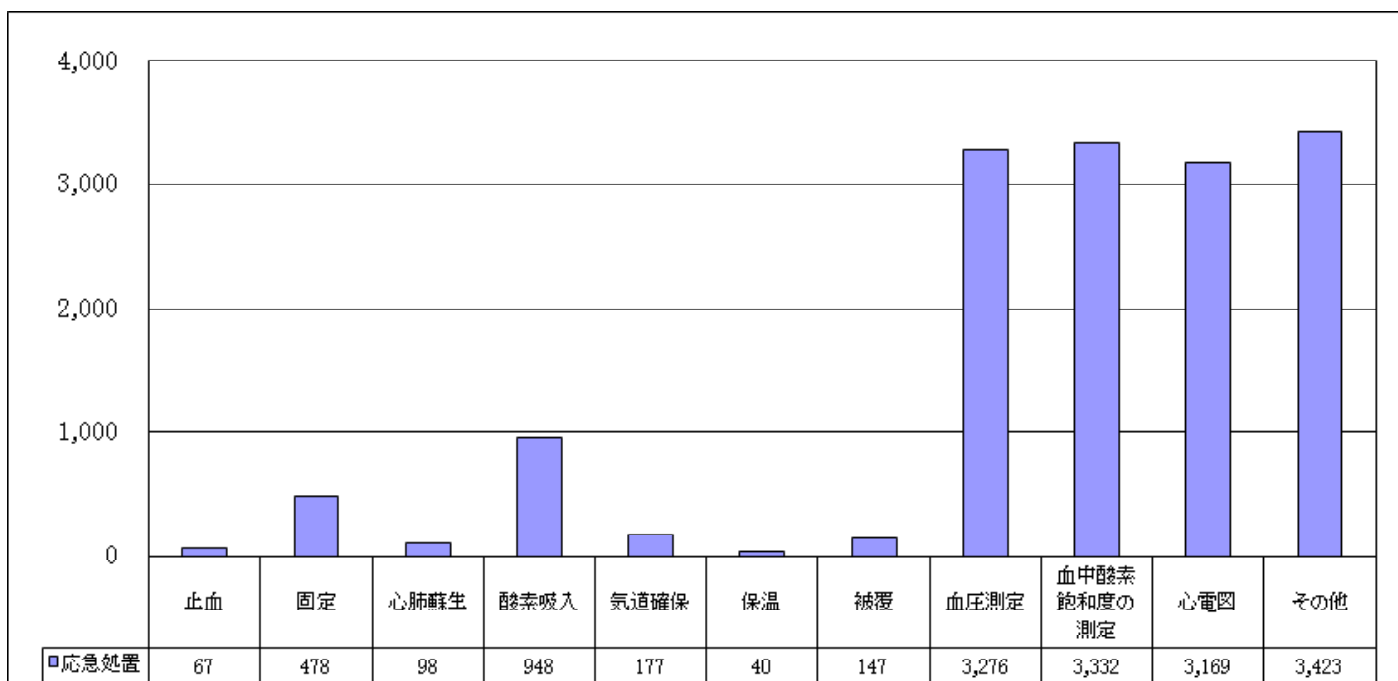
## 9 年齢別搬送人員



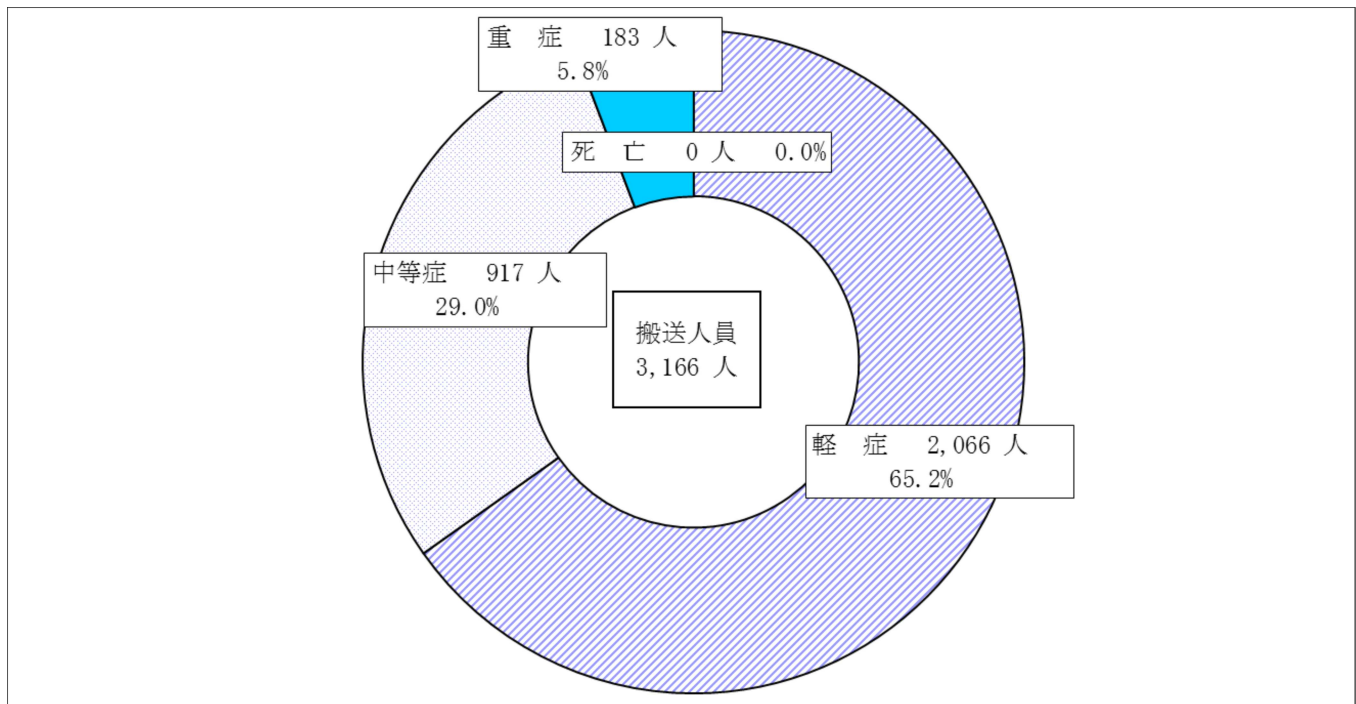
## 10 月別時間別救急出動状況

月別	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計	構成比%
0 ~ 2	14	10	12	14	8	9	11	19	10	11	15	13	146	4.1
2 ~ 4	10	7	12	3	9	10	12	12	17	13	11	13	129	3.6
4 ~ 6	12	7	6	12	18	19	11	11	9	10	3	14	132	3.7
6 ~ 8	25	27	30	17	20	26	22	20	23	21	27	20	278	7.9
8 ~ 10	36	50	32	33	30	32	42	22	28	36	41	49	431	12.2
10 ~ 12	40	32	38	24	29	34	33	35	31	34	41	38	409	11.6
12 ~ 14	43	36	28	22	33	34	30	22	32	27	30	43	380	10.8
14 ~ 16	39	22	41	28	31	33	27	30	42	29	33	27	382	10.8
16 ~ 18	35	40	32	27	33	25	34	22	26	18	28	34	354	10
18 ~ 20	25	36	36	26	26	27	32	34	20	32	26	45	365	10.3
20 ~ 22	36	21	21	17	17	28	25	30	16	27	30	31	299	8.5
22 ~ 24	21	13	19	25	18	18	9	24	11	24	26	21	229	6.5
計	336	301	307	248	272	295	288	281	265	282	311	348	3,534	100.0

## 11 救急隊が行った応急処置



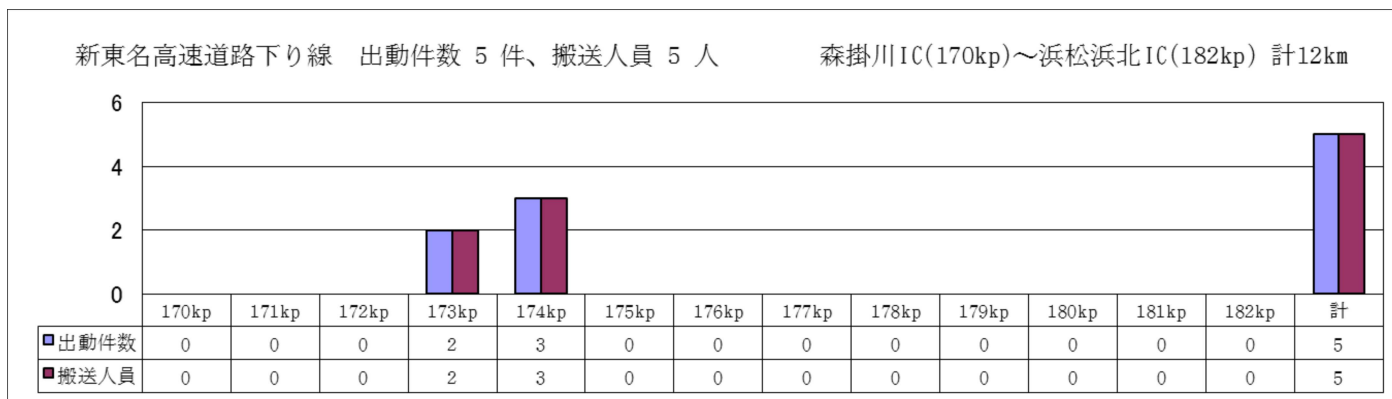
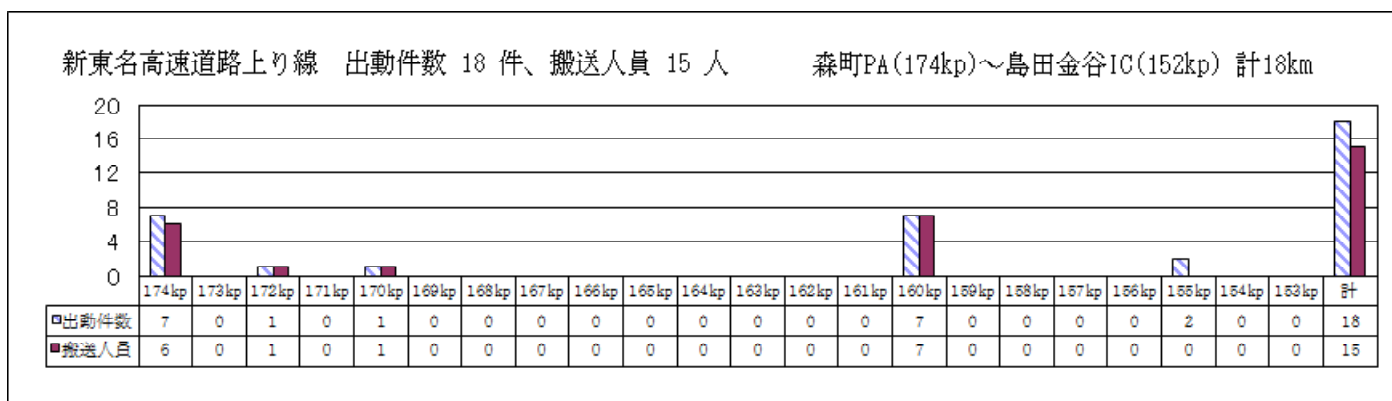
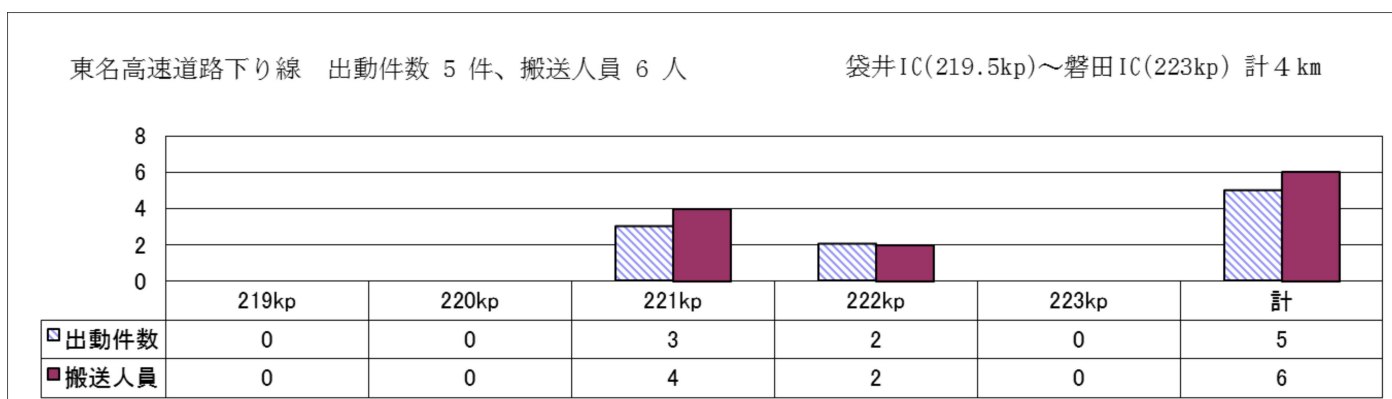
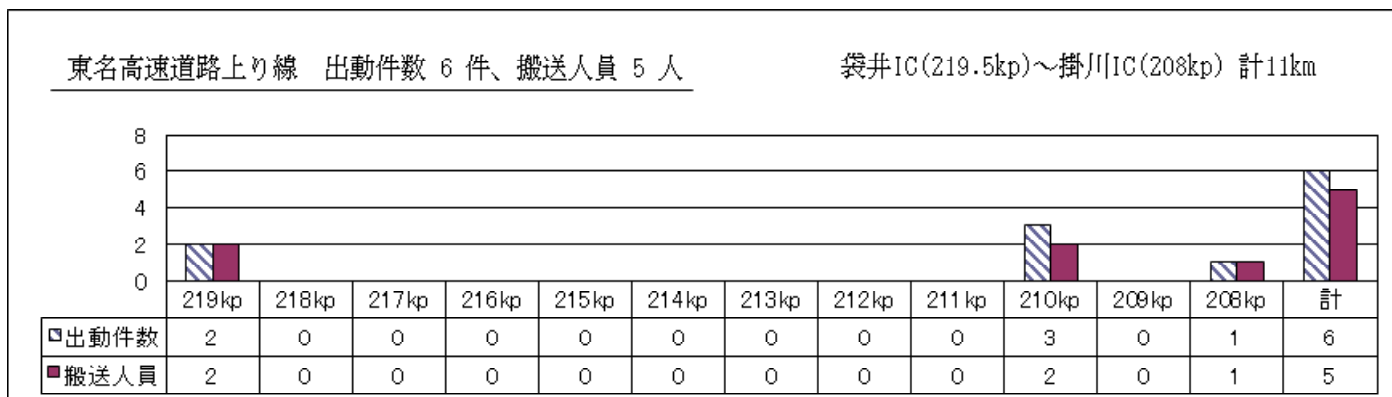
## 12 傷病程度別搬送人員



## 13 病（医）院別搬送人員

管内病（医）院名	搬送人員	管外病（医）院名	搬送人員
中東遠総合医療センター	2,260人	磐田市立総合病院	290人
公立森町病院	511人	聖隷浜松病院	25人
袋井市立聖隷袋井市民病院	2人	聖隷三方原病院	21人
げんまクリニック	1人	浜松医科大学附属病院	16人
山名診療所	1人	服部病院	9人
		菊川市立総合病院	5人
		浜松労災病院	5人
		市立島田市民病院	4人
		小笠病院	3人
		磐田脳神経外科病院	2人
		ハートセンター磐田	2人
		浜松医療センター	2人
		天竜病院	2人
		浜松赤十字病院	1人
		あんずクリニック	1人
		豊田えいせい病院	1人
		遠州病院	1人
		小池神経科	1人
小計	2,775人	小計	391人
合計		3,166人	

14 東名・新東名高速道路救急出動状況 (出動件数34件、搬送人数31人)



## 15 収容所要時分別搬送人員

(単位：人)

種 別	所要時間						合 計
	10分未満	10分以上 20分未満	20分以上 30分未満	30分以上 60分未満	60分以上 120分未満	120分以上	
急 病	0	3	82	1,731	192	0	2,008
交通事故	0	0	4	251	86	1	342
一般負傷	0	1	16	363	44	2	426
そ の 他	0	0	5	346	39	0	390
合 計	0	4	107	2,691	361	3	3,166

※ 覚知から病院収容までの所要時間

救

助



## 救助の概況

平成26年中における救助出動状況は、出動件数63件、救助人員28人で、前年に比べ出動件数5件の減少、救助人員3人が増加いたしました。

救助種別で見ると、交通事故29件(46%)、火災14件(22%)で両種別で全体の68%を占めています。

複雑多様化する災害に対応できる資機材の充実をはじめ、高度な専門知識と技能習得に努めるとともに、救助体制の一層の充実強化を図ることが必要であります。

# 1 救助活動状況

区分		火災		交通事故	水難事故	風水害等	機械による事故	建よる等に事故	ガス欠及び事	爆発事故	その他の事故	計	
		建物	建物外										
出動件数	袋井市	9	3	16			3	2	1		12	46	
	森町	2		9	1						1	13	
	東名			1								1	
	新東名			3								3	
	管轄外												
	計	11	3	29	1		3	2	1		13	63	
活動件数	袋井市	3		8			1		1		5	18	
	森町	1		4	1						1	7	
	東名			1								1	
	新東名			1								1	
	管轄外												
	計	4		14	1		1		1		6	27	
救助人員	袋井市	2		9			1		1		6	19	
	森町	1		4	1						1	7	
	東名			1								1	
	新東名			1								1	
	管轄外												
	計	3		15	1		1		1		7	28	

# 2 事故種別発生場所別出動状況

区分		火災		交通事故	水難事故	風水害等	機械による事故	建よる等に事故	ガス欠及び事	爆発事故	その他の事故	計	
		建物	建物外										
屋内	住居	10						2	1		5	18	
	その他の屋内	1					3					4	
屋外	道路	高速自動車道		4								4	
		その他の道路		1	24						1	26	
	水面	内水面				1						1	2
		外水面			1							1	2
	山岳										1	1	
	その他の屋外		2								4	6	
地下													
その他													
計		11	3	29	1		3	2	1		13	63	

### 3 月別出動状況

市町別	出動・活動	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
袋井市	出動件数	3	1	1	5	5	1	1	1	3	5	2		28
	活動件数	3	2		4	1	1		2	2	1	1	1	18
森町	出動件数	1		2	1		1		1					6
	活動件数		2	2					1	1	1			7
東名	出動件数													
	活動件数			1										1
新東名	出動件数						1			1				2
	活動件数												1	1
管轄外	出動件数													
	活動件数													
合計	出動件数	4	1	3	6	5	3	1	2	4	5	2		36
	活動件数	3	4	3	4	1	1		3	3	2	1	2	27

### 4 最近5年間の救助出動及び活動件数

	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年
出動件数	49	57	60	68	63
活動件数	28	24	23	22	27
救助人員	28	26	29	25	28

## 5 救助工作車積載装備品一覧

一般救助器具	数量	呼吸保護用器具	数量
かぎ付きはしご	1	空気呼吸器	5
三連はしご	1	予備ボンベ	4
ワイヤはしご	1	防塵マスク	5
救命索発射銃	1	送排風機	1
サバイバースリング	1	エアラインマスク	5
救助用縛帯	4	隊員保護用器具	
平担架	1	皮手袋	3
ロープ	27	耐電手袋	5
カラビナ	40	安全带	5
滑車	9	防塵メガネ	3
重量物排除用器具		携帯警報器	5
油圧スプレッダー	1	化学防護服	4
可搬ウィンチ	1	耐電衣一式	2
ワイヤロープ	2	検索用器具	
救助用簡易起重機	1	簡易画像検索機	1
マット型空気ジャッキ式	1	水難救助用器具	
大型油圧スプレッダー	1	救命胴衣	3
切断用器具		救命浮環	1
油圧切断機	1	山岳救助用器具	
エンジンカッター	1	バスケット担架	1
チェーンソー	1	その他の救助用器具	
鉄線カッター	1	投光器一式	1
空気鋸	1	携帯投光器	4
大型油圧切断機	1	携帯拡声器	2
空気切断機	2	携帯無線機	2
鉄筋切断用チェーンソー	1	応急処置用セット	1
破壊用器具		ロープ登降機	2
万能斧	2	救助用降下機	1
ハンマー	1	発電機	1
携帯用コンクリート破壊器具	1		
検知・測定用器具			
化学剤検知機	1		
可燃性ガス測定器	1		

消 防 团

## 消防団の概況

消防団は、地域の防災体制の中核として、安全で住みよい地域社会の実現を目指し、昼夜を問わず郷土愛護の精神に基づき、献身的な活動を行っております。

近年、都市化の進展と生活様式の変化及び危険物施設の増大また、気象条件の変化などにより、災害の様相も複雑多様化、困難性を伴うものが増えてきており、消防団の果たす役割はますます重要なものとなっております。

これら、複雑多様化する消防業務に対処するためには、消防団、消防署が連携のもとに、常に防災に関するリーダーであることを自覚し、実践的な防災訓練の推進を図り、いついかなる事態にも対応できるよう常に訓練を重ね、技術の練磨に努めております。

# 1 消防団の状況

(平成27年4月1日現在)

市町	階級	団	副	本	分	副	部	副	班	団	合	
		長	長	部 員	団 長	分 団 長	長	長	長	員	計	
総計	条例定員	2	6	36	20	41	10	12	186	740	<b>1053</b>	
	現在人員	2	6	36	20	41	10	12	186	707	<b>1020</b>	
井	袋	条例定員	1	3	26	15	30		108	477	<b>660</b>	
		現在人員	1	3	26	15	30		108	449	<b>632</b>	
	井	団本部	1	3	26							<b>30</b>
		方	第1分団				1	2		7	30	<b>40</b>
			第2分団				1	2		7	30	<b>40</b>
			第3分団				1	2		7	30	<b>40</b>
			第4分団				1	2		7	30	<b>40</b>
			第5分団				1	2		7	30	<b>40</b>
			第6分団				1	2		7	30	<b>40</b>
			第7分団				1	2		7	30	<b>40</b>
第8分団						1	2		7	25	<b>35</b>	
第9分団						1	2		7	30	<b>40</b>	
第10分団					1	2		7	30	<b>40</b>		
市	浅羽方	第1分団			1	2		7	30	<b>40</b>		
		第2分団			1	2		7	22	<b>32</b>		
		第3分団			1	2		7	23	<b>33</b>		
		第4分団			1	2		7	26	<b>36</b>		
		第5分団			1	2		7	45	<b>55</b>		
	女性隊							3	8	<b>11</b>		
森	条例定員	1	3	10	5	11	10	12	78	263	<b>393</b>	
	現在人員	1	3	10	5	11	10	12	78	258	<b>388</b>	
	団本部	1	3	10							<b>14</b>	
	町	第1分団				1	2	2	2	14	39	<b>60</b>
		第2分団				1	3	2	4	25	89	<b>124</b>
		第3分団				1	2	2	2	13	30	<b>50</b>
		第4分団				1	2	2	2	13	50	<b>70</b>
		第5分団				1	2	2	2	13	50	<b>70</b>

## 2 消防団の無線状況

### (1) 袋井市消防団

(平成27年4月1日現在)

団別	呼出名	出力	機種名	積載車両 (貸与消防団員含む)	
袋井市	移動	ふくろい 71	10W	ゼネラル	指令車
		ふくろい 72	10W	ゼネラル	指令車
		ふくろい にし 1	10W	ゼネラル	袋井第1分団ポンプ車
		ふくろい たかお 1	10W	ゼネラル	袋井第2分団ポンプ車
		ふくろい あいとよ 1	10W	ゼネラル	袋井第3分団ポンプ車
		ふくろい あいとよ 2	10W	ゼネラル	袋井第3分団可搬積載車
		ふくろい きた 1	10W	ゼネラル	袋井第4分団ポンプ車
		ふくろい ひがし 1	10W	ゼネラル	袋井第5分団ポンプ車
		ふくろい いまい 1	10W	ゼネラル	袋井第6分団ポンプ車
		ふくろい みつかわ 1	10W	ゼネラル	袋井第7分団ポンプ車
	ふくろい みつかわ 2	10W	ゼネラル	袋井第7分団可搬積載車	
	ふくろい かさはら 1	10W	ゼネラル	袋井第8分団ポンプ車	
	ふくろい かさはら 2	10W	ゼネラル	袋井第8分団可搬積載車	
	ふくろい やまなし 1	10W	ゼネラル	袋井第9分団ポンプ車	
	ふくろい うがり 1	10W	ゼネラル	袋井第10分団ポンプ車	
	ふくろい うがり 2	10W	ゼネラル	袋井第10分団可搬積載車	
	局	あさば 1	10W	ゼネラル	浅羽第1分団積載車
		あさば 2	10W	ゼネラル	浅羽第2分団積載車
		あさば 3	10W	ゼネラル	浅羽第3分団積載車
		あさば 4	10W	ゼネラル	浅羽第4分団積載車
あさば 5		10W	ゼネラル	浅羽第5分団積載車	
あさば 6		10W	ゼネラル	浅羽第5分団積載車	
あさば 11		5W	ゼネラル	浅羽第1分団ポンプ車	
あさば 12		5W	ゼネラル	浅羽第2分団ポンプ車	
あさば 13		5W	ゼネラル	浅羽第3分団ポンプ車	
あさば 14		5W	ゼネラル	浅羽第4分団ポンプ車	
あさば 15	5W	ゼネラル	浅羽第5分団ポンプ車		
あさば 16	5W	ゼネラル	浅羽第5分団ポンプ車		
携帯局	ふくろい 201	1W	ゼネラル	団長	
	ふくろい 202	1W	ゼネラル	副団長	
	ふくろい 203	1W	ゼネラル	副団長	
	ふくろい 204	1W	ゼネラル	副団長	
	ふくろい 205	1W	ゼネラル	袋井方面隊長	
	ふくろい 206	1W	ゼネラル	本部	
	ふくろい 207	1W	ゼネラル	本部	
	ふくろい 208	1W	ゼネラル	本部	
	ふくろい 209	1W	ゼネラル	本部	
	ふくろい 211	1W	ゼネラル	副本部	
ふくろい 212	1W	ゼネラル	副本部		
ふくろい 213	1W	ゼネラル	副本部		
ふくろい 214	1W	ゼネラル	副本部		



袋	携	ふくろい	215	1 W	ゼネラル	副 本 部	長		
		ふくろい	216	1 W	ゼネラル	副 本 部	長		
		ふくろい	217	1 W	ゼネラル	副 本 部	長		
		ふくろい	218	1 W	ゼネラル	副 本 部	長		
		ふくろい	219	1 W	ゼネラル	副 本 部	長		
		ふくろい	220	1 W	ゼネラル	副 本 部	長		
		ふくろい	221	1 W	ゼネラル	袋井第1分団分団	長		
		ふくろい	222	1 W	ゼネラル	袋井第2分団分団	長		
		ふくろい	223	1 W	ゼネラル	袋井第3分団分団	長		
		ふくろい	224	1 W	ゼネラル	袋井第4分団分団	長		
		ふくろい	225	1 W	ゼネラル	袋井第5分団分団	長		
		ふくろい	226	1 W	ゼネラル	袋井第6分団分団	長		
		ふくろい	227	1 W	ゼネラル	袋井第7分団分団	長		
		ふくろい	228	1 W	ゼネラル	袋井第8分団分団	長		
		ふくろい	229	1 W	ゼネラル	袋井第9分団分団	長		
		ふくろい	230	1 W	ゼネラル	袋井第10分団分団	長		
		井	帯	あさば	301	1 W	ゼネラル	浅羽方面隊	長
				あさば	302	1 W	ゼネラル	本 部	長
				あさば	303	1 W	ゼネラル	本 部	長
				あさば	304	1 W	ゼネラル	本 部	長
あさば	305			1 W	ゼネラル	本 部	長		
あさば	306			1 W	ゼネラル	本 部	長		
あさば	307			1 W	ゼネラル	予	備		
あさば	308			1 W	ゼネラル	本	部		
あさば	309			1 W	ゼネラル	本	部		
あさば	311			1 W	ゼネラル	副 本 部	長		
あさば	312			1 W	ゼネラル	浅羽第1分団分団	長		
あさば	321			1 W	ゼネラル	副 本 部	長		
あさば	322			1 W	ゼネラル	浅羽第2分団分団	長		
あさば	331			1 W	ゼネラル	副 本 部	長		
あさば	332			1 W	ゼネラル	浅羽第3分団分団	長		
あさば	341			1 W	ゼネラル	副 本 部	長		
あさば	342			1 W	ゼネラル	浅羽第4分団分団	長		
あさば	351			1 W	ゼネラル	副 本 部	長		
あさば	352			1 W	ゼネラル	浅羽第5分団分団	長		
あさば	361			1 W	ゼネラル	本	部		
あさば	362	1 W	ゼネラル	本	部				

(2) 森町消防団

(平成27年4月1日現在)

団 別	呼 出 名	出 力	機 種 名	積 載 車 両		
(貸与消防団員含む)						
森	移動局	も り	51	10W	ゼネラル	指 令 車
町		も り	52	10W	ゼネラル	照 明 車

### 3 消防団員（年齢・勤務年数・職業）調べ

(1) 袋井市消防団 (団本部及び袋井方面隊) (平成27年4月1日現在)

区分		分 団											
		団本部	一分団	二分団	三分団	四分団	五分団	六分団	七分団	八分団	九分団	十分団	
年 齢 別	20歳未満												
	20歳～24歳												
	25歳～29歳		5	11	6	3	7	3		4		7	
	30歳～34歳	9	35	29	34	37	33	37	40	31	40	33	
	35歳～39歳	21											
	40歳～44歳												
	45歳以上												
勤続年数別	1年未満	9		7	8	7	7	8	7	5	6	4	
	1年以上～5年未満	4	23	25	26	32	29	26	33	28	34	26	
	5年以上～10年未満	23	8	7	6	1	4	6		2		10	
	10年以上～15年未満	3		1									
	15年以上～20年未満												
	20年以上												
業 別	農 林 水 産 業	6	1		1		1	1	4	2	1	1	
	鉱 業												
	建 設 業	8	5	5	1	4	6	4	5	4	4	5	
	製 造 業	9	20	24	25	18	17	29	16	17	20	18	
	卸 売 ・ 小 売 業	1	2					2		4	2	1	
	金 融 ・ 保 険 業		1										
	不 動 産 業			1								2	
	運 輸 通 信 業		4	4	4	2	2	2	2	2	1	4	
	電 気 ・ ガ ス ・ 水 道		1	4	1				2		1		
	サ ー ビ ス 業	3	5	1	3	7	8	4	8	4	6	9	
	公 務 員	2	1	1	3	5	1					1	1
	そ の 他	1			2	4	1				3	4	2
計	<b>30</b>	<b>40</b>	<b>40</b>	<b>40</b>	<b>40</b>	<b>40</b>	<b>40</b>	<b>40</b>	<b>40</b>	<b>35</b>	<b>40</b>	<b>40</b>	

## (浅羽方面隊及び女性隊)

(平成27年4月1日現在)

区 分		分 団					女性隊	計
		一分団	二分団	三分団	四分団	五分団		
年 齢 別	20歳未満							1
	20歳～24歳	5		2	1	4		14
	25歳～29歳	23	18	13	13	25		155
	30歳～34歳	12	14	18	22	26	2	436
	35歳～39歳						1	22
	40歳～44歳						1	2
	45歳以上						7	6
勤続年数別	1年未満	12	6	10	6	5		121
	1年以上～5年未満	23	18	11	17	29	11	406
	5年以上～10年未満	5	8	12	12	16		104
	10年以上～15年未満				1	5		5
	15年以上～20年未満							
	20年以上							
職 業 別	農 林 水 産 業			3	2	3		29
	鉱 業							1
	建 設 業	3	2	1	4	3	1	51
	製 造 業	18	19	18	17	27		327
	卸 売 ・ 小 売 業	5	2	4		8	3	31
	金 融 ・ 保 険 業							15
	不 動 産 業			1				2
	運 輸 通 信 業	4	5		4	2	1	45
	電 気 ・ ガ ス ・ 水 道							12
	サ ー ビ ス 業	3	2	5	7	8	3	64
	公 務 員				1	3	1	16
	そ の 他	7	2	1	1	1	2	43
	計	40	32	33	36	55	11	636

## (2) 森町消防団

(平成27年4月1日現在)

区 分		分 団		計				
		団本部	一分団		二分団	三分団	四分団	五分団
年 齢 別	20歳未満							0
	20歳～24歳		1					1
	25歳～29歳		24	44	19	17	13	117
	30歳～34歳		35	80	31	53	57	256
	35歳～39歳	13						13
	40歳～44歳	1						1
	45歳以上							0
勤続年数別	1年未満		6	20	12	8	12	58
	1年以上～5年未満	1	27	67	14	40	46	195
	5年以上～10年未満	6	24	36	24	22	12	124
	10年以上～15年未満	6	3	1				10
	15年以上～20年未満	1						1
	20年以上							0
職 業 別	農林水産業	2		4	3	5	3	17
	鉱業							0
	建設業	2	7	14	6	12	8	49
	製造業	3	23	67	20	26	31	170
	卸売・小売業		5	11		1	2	19
	金融・保険業					2	1	3
	不動産業				2			2
	運輸通信業	1	6	6	6	6	3	28
	電気・ガス・水道	1	2	3	2	2		10
	サービス業	3	12	9	5	7	14	50
	公務員	2	2	6	5	7	6	28
	その他		3	4	1	2	2	12
	計	14	60	124	50	70	70	388

## 平成26年度実施した主な行事

月	袋井市消防団	森町消防団
4	袋井市消防団入退団式 新入団員講習会 分団車庫・水防倉庫査察 消防ポンプ性能検査 消防戦術及び消防無線講習会 磐周支部技術講習会（袋井市）	森町消防団入退団式 分団別春季訓練 磐周支部技術講習会（袋井市）
5	袋井市消防団訓練礼式査閲大会・審査会 袋井市まとい会総会	消防ポンプ取扱い講習会 消防ポンプ性能検査 森町消防操法技術講習会
6	土砂災害防災訓練 水防工法講習会 太田川原谷川治水水防組合水防演習（森町）	土砂災害防災訓練 水防工法講習会 太田川原谷川治水水防組合水防演習（森町） 森町消防団消防操法査閲大会
7		
8	ふくろい遠州の花火大会警戒	森町納涼花火大会警戒
9	袋井市総合防災訓練 第1回非常招集演習 磐周支部まとい会総会（磐田市）	森町総合防災訓練 磐周支部まとい会総会（磐田市）
10	消防団広報誌発行	
11	袋井消防フェスタ 静岡県消防大会（長泉町） 秋季火災予防運動（広報） 全国女性消防団員活性化大会（千葉県） 第2回非常招集演習	森町産業祭防災広報 静岡県消防大会（長泉町） 秋季火災予防運動（広報） 分団別秋季訓練 招集演習訓練
12	袋井市地域防災訓練	森町地域防災訓練
1	袋井市消防出初式	出初式 防災とボランティア週間（広報）
2	浅羽町まとい会総会	
3	春季火災予防運動（広報） 津波避難訓練 第3回非常招集演習	森町まとい会総会 春季火災予防運動（広報） 幹部教養訓練

平成26年版 消防年報

平成27年 7 月発行

編集・発行 袋井市森町広域行政組合  
〒437-0064 静岡県袋井市川井996番地の2  
TEL <0538>42-0119

## 袋井市森町広域行政組合袋井消防本部

消防本部 〒437-0064 静岡県袋井市川井996番地の2 TEL0538-42-0119 (代表)

総務課	◇消防総務係	TEL0538-44-5111	FAX0538-44-5113
警防課	◇警防係	TEL0538-44-5112	FAX0538-44-5751
予防課	◇予防係	TEL0538-44-5114	FAX0538-44-5113
	◇危険物係	TEL0538-44-5115	FAX0538-44-5113

袋井消防署	〒437-0064	袋井市川井996番地の2	TEL0538-44-5119	FAX0538-44-5113
浅羽分署	〒437-1102	袋井市浅名1045番地	TEL0538-23-0119	FAX0538-23-3222
山梨分遣所	〒437-0125	袋井市上山梨三丁目27-4	TEL0538-49-3119	FAX0538-49-3122
森分署	〒437-0215	周智郡森町森48番地の2	TEL0538-85-0119	FAX0538-85-3950